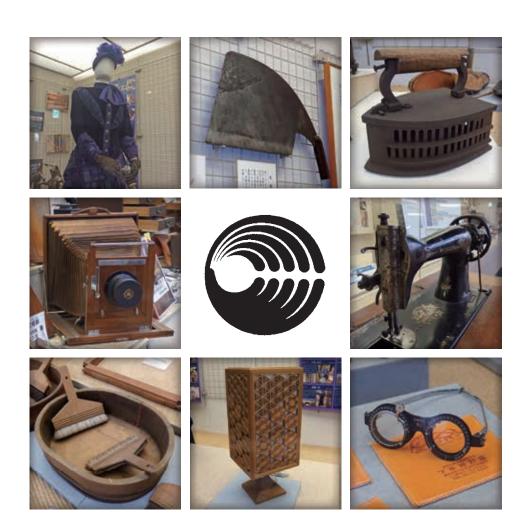
# 技運協

50年のあゆみ



# 技連協

50年のあゆみ



# 横浜市技能職団体連絡協議会 創立 50 周年記念誌発刊にあたって

# 横浜市技能職団体連絡協議会 会長 堀 内 裕 司

私たち横浜市技能職団体連絡協議会(以下「技連協」)は本年で 創立から50年の節目を迎えることができました。このことは、 ひとえに歴代の役員の皆様やご協力をいただいている関係機関の 皆様、そして何より日ごろから技連協の活動をご理解いただき、 支えてこられた加盟団体の皆様の絶大なるご協力なくしては不 可能であったと思います。ここに、この誌上をお借りして改めて 厚く御礼を申し上げます。

技連協の歴史は、横浜市が昭和42年に「横浜市技能功労者表彰 要綱 | を制定し、同年11月に「第一回横浜市技能功労者表彰式 | を執り行い、翌43年の「第二回技能功労者選考委員会」の席上、 技能職団体の出席者間で連絡会の結成が話し合われたことに始まり ます。同年に23業種・23団体の参加をもって「横浜市技能職種別 団体連絡会」が発足し、初代会長に堀万吉氏(神奈川県全調理師会 長)が就任しました。当時の設立の思いは市内のすべての技能者が 結集し一致団結していくことで、その社会的、経済的地位の向上の ために努力して行こうということでした。これは堀万吉氏の言葉を お借りすれば「私たち技能者は、奈良時代の昔から生活文化の創造 者として社会を支えてまいりました。しかし、身分社会の確立とと もに、縁の下の力持ち的存在として扱われ、近代に至るまで伝統の 手仕事を守り続けながら社会の裏方として市民生活を守る努力を続 けてきたのです。そんな技能者を社会の表舞台に引き上げる表彰制 度を作って下さった横浜市当局に対し、技能者の感謝の気持ちとし て横浜の産業発展の原動力となって市民生活の安定と発展に寄与す ることでお返しして行こう。」としたことでした。ゆえに発足時から



規約に有る設置目的を「本会は構成団体相互間の円滑なる連絡協調を はかることによって、技能者の社会的・経済的地位および技能水準の 向上をはかり、もって横浜市の産業振興に寄与することを目的とする」 とし、名誉会長に横浜市長を招請し、現在も引き継がれています。

そして、半世紀にわたる活動の中では、10周年を記念して始まった「技能まつり」は市民との交流を通じて技能者の社会的、経済的地位向上の努力を続け、来年度で「第40回」となります。他方この間には技術革新による機械化で従来の手仕事の領域が次々と侵食され、職人としてのアイデンティティーを見失いかけるといった問題にも直面しました。近年においても新たなテクノロジーの登場でさらに問題が深刻化しています。しかしながら、この機械化や新しいテクノロジー出現の根底には我々職人が長い時間をかけて作り上げてきた技を取り込むことによって成立しているものがほとんどです。

我々が長年大事に育ててきた技能は、最新のテクノロジーをも作り 出し社会の発展を成し遂げることで、引き継がれてきたのです。この 先の50年は、現在のように機械等で作られたものに囲まれた無機質 な社会から脱却し、人間の手から生み出された温もりある生産物が求 められていくと考えられます。その時市民の要求に答えるためにも、 これからも技能の継承を誇りを持って続けて、我々が再び社会的、経 済的な向上を実現できるよう技連協をさらに発展させていこうと考え ます。本誌が技連協創立50年の技能者の結集の証として今後の発展 のきっかけになることを切に希望しています。

最後に加盟するすべての団体と、そこに集うすべての技能職者のさらなる発展をお祈りしまして発刊のご挨拶とさせていただきます。

# 横浜市技能職団体連絡協議会 創立 50 周年市長メッセージ

横 浜 市 長 林 文 子

横浜市技能職団体連絡協議会が、このたび創立50周年という大きな節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

皆様には、昭和43年の創立以来、半世紀の長きにわたり、質の高い「ものづくり」と「サービス」の提供を通じて、本市における産業の振興に、多大なる御貢献をいただいてまいりました。歴史を重ね受け継がれてきた「職人の技」は、横浜の街を発展させてきた大切な力であり、開港都市・横浜の誇りです。改めて深く敬意を表し、厚く御礼申し上げます。

毎年秋の恒例行事として親しまれている「よこはま技能まつり」 や、夏休みに行われる「匠の小学校」では、素晴らしい技能を披露されるとともに、職人の心意気をお伝えいただき、多くの参加者が手仕事・手作業の楽しさを体感しています。横浜を、将来にわたり心豊かな都市にしていくためにも、今後も様々な機会を通して、誇りある職人の心と技を次の世代へ継承していただきたいと思います。

先人たちの街を想う情熱とたゆまぬ努力により、日本を代表する大都市へと成長を遂げてきた横浜を、次の世代に確実に継承していくため、横浜市は今年、今後の施策の基盤となる新たな「中期4か年計画」を策定しました。持続的な成長・発展を実現し、



市民の皆様の安全・安心を守るという強い決意のもと、これまで の取組を一層進化させ、横浜経済の支えである中小企業、商店街、 そして技能職の皆様がますます活躍できるよう、支援していきます。

計画期間中には、「ラグビーワールドカップ 2019<sup>™</sup>」、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」と、大規模なスポーツイベントの開催が予定されており、3度目の横浜開催となる「アフリカ開発会議」も行われます。まさに世界からの注目が集まる中で、日本の伝統的な技能と文化、とりわけ、一つひとつ丁寧に生み出される「ものづくり」、また思いやりの心が込もった、隅々まで行き届いた「手仕事」の素晴らしさは、世界に誇るべき魅力であると実感しています。

今後も皆様と手を携え、「匠の技」を横浜が誇るブランドとして発展させ、都市の魅力をなお一層高めてまいりたいと思います。どうか変わらぬ御支援を賜りますようお願いいたします。

むすびになりますが、横浜市技能職団体連絡協議会のさらなる 御発展を心から祈念申し上げますとともに、皆様の優れた技能が、 次の50年も広く市民の方々に愛され、大切に引き継がれていくこと を願いまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

..... 2

.....9

..... 17

(順不同)

### 目次

会長ごあいさつ
市長メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
技連協この10年のあゆみ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
団体プロフィール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
神奈川県スクリーン・デジタル印刷協同組合
(一社)横浜市鍼灸マッサージ師会
横浜畳組合連合会
神奈川県クリーニング生活衛生同業組合
横浜染物組合
神表協横浜表装インテリア協会
首都圏建設産業ユニオン横浜支部
横浜市管工事協同組合
神奈川県型枠工事業協同組合
(一社)神奈川県広告美術協会 横浜横須賀支部
横浜浴槽設備組合
横浜市鳶工業連合会
(公社)神奈川県塗装協会
神奈川土建一般労働組合横浜市協議会
神奈川県洋装組合連合会
神奈川県和服裁縫協同組合
(一社)神奈川県造園業協会
横浜市写真師会

横浜市理容連合会	
横浜建具組合連合会	
横浜市美容組合連絡協議会	
横浜市建設労働組合連合会	
(公社)全日本司厨士協会 関東総合地方本部神奈川県本部	
横浜豆腐商工業協同組合	
横浜市板金組合連合会	
横浜石工連合組合	
横浜瓦屋根組合	
横浜市左官業協同組合	
横浜市屋外広告美術協同組合	
全日本建築士会神奈川支部	
神奈川県印章業組合連合会	
横浜マイスター会	
横浜市料理飲食喫茶技能組合	
神奈川県中日調理師会	
横浜市技能職団体連絡協議会青年部	
横浜市技能功労者表彰	81
横浜市優秀技能者表彰	93
横浜市技能職者奨励賞	105
横浜市技能職団体連絡協議会創立50周年記念式典 · · · ·	·· 107
広告 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	109



技連協 この10年のあゆみ



# 平成 20 年 2008

# 平成 21年 2009

### 月・日 ▶ できごと

2.1 研修会

(ホテル横浜ガーデン・「私の歩んだ道」から ~人の技とそのこころ~

講師:技連協会長 畠山滋氏)

新春交流会

(ホテル横浜ガーデン・33 団体 90 人参加)

- 3·11 第 28 回ボウリング大会 (新杉田ボウル・21 チーム 84 人参加)
- 3·17 三役会(技能職者交流室)
- 5.19 三役会(技能職者交流室)
- 5.22 常任理事会(技能職者交流室)
- 6·3 三役会(技能職者交流室) 常任理事会(特別会議室) 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 7・1 川上三寳前会長ご逝去
- 6・17 平成 20 年度総会(技能文化会館多目的ホール) 交流会 (技能文化会館多目的ホール・39 団体 90 人参加)
- 7・31 「技連協だより第38号」発行
- 9・28 第 29 回よこはま技能まつり (横浜公園)
- 10·30 第 42 回横浜市技能功労者表彰式(技能文化会館) 第 40 回横浜市優秀技能者表彰式(技能文化会館)
- 11.10 三役会(技能職者交流室)
- 11.21 第11回全国技能職団体連絡協議会会議(尼崎市)
- 12・10 「技連協だより第39号」発行

### 月・日 ▶ できごと

2.2 研修会

(ホテル横浜ガーデン・「合わせ鏡に映る自分」 講師:株式会社横浜市食肉公社代表取締役 会沢芳一氏)

新春交流会

(ホテル横浜ガーデン・33 団体 84 人参加)

- 3·11 第 29 回ボウリング大会 (新杉田ボウル・22 チーム 84 人参加)
- 3·17 三役会(技能職者交流室)
- 3・31 常任理事会(技能職者交流室) 「技連協だより第40号」発行
- 5.14 三役会(技能職者交流室)
- 5.28 三役会(技能職者交流室)
- 6·5 三役会(技能職者交流室) 常任理事会(技能職者交流室) 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 6.11 臨時理事会(技能文化会館802号室)
- 6・16 平成 21 年度総会(技能文化会館多目的ホール) 交流会 (技能文化会館多目的ホール・39 団体 90 人参加)
- 6·30 三役会(技能職者交流室) 常任理事会(技能職者交流室)
- 7·13 三役会(技能職者交流室) 常任理事会(技能文化会館 801 号室)
- 8.17 三役会(技能職者交流室)
- 10・4 第30回よこはま技能まつり (大通り公園・参加団体: 技連協加盟団体 30 団体)
- 11·13 第 43 回横浜市技能功労者表彰式(技能文化会館)第 41 回横浜市優秀技能者表彰式(技能文化会館)
- 11.17 第12回全国技能職団体連絡協議会会議(高崎市)
- 12·14 三役会(技能職者交流室) 常任理事会(技能職者交流室)

# 平成 22年 2010

# 平成 23年 2011

### 月・日 ▶ できごと

- 1.8 三役会(技能職者交流室)
- 1.29 三役会(技能職者交流室)
- 1・31 「技連協だより第 41 号」発行
- 2·4 研修会

(ホテル横浜ガーデン・「人の前で歌う。話す」 講師: 綾みどり氏)

新春交流会

(ホテル横浜ガーデン・33 団体 85 人参加)

- 3・18 第 30 回ボウリング大会 (新杉田ボウル・17 チーム 68 人参加)
- 3.24 三役会(技能職者交流室)
- 3·31 研修会 (メルパルク横浜・「テーブルマナーについて」 講師:横浜マイスター 清水郁夫氏) 「技連協だより第42号」発行
- 5·24 三役会(技能職者交流室) 常任理事会(技能職者交流室) 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 6·9 三役会(技能職者交流室) 常任理事会(技能職者交流室)
- 6・28 平成 22 年度総会(技能文化会館多目的ホール) 交流会 (技能文化会館多目的ホール・38 団体 75 人参加)
- 7・30 「技連協だより第43号 | 発行
- 8.16 理事会(技能文化会館802号室)
- 9·10 三役会(技能職者交流室) 常任理事会(技能職者交流室)
- 9.17 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 10·3 第 31 回よこはま技能まつり (横浜公園・参加団体: 技連協加盟団体 31 団体 その他 2 団体)
- 10·26 第 44 回横浜市技能功労者表彰式(技能文化会館) 第 42 回横浜市優秀技能者表彰式(技能文化会館)
- 11.5 第13回全国技能職団体連絡協議会会議(厚木市)
- 11·29 三役会常任理事会(技能職者交流室) 理事会(技能文化会館 802 号室)

### 月・日 ▶ できごと

- 1.7 三役会(技能職者交流室)
- 1.24 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 2・4 研修会 (ワークピア横浜・「横浜市技能職者育成事業について、 平成 22 年事業の取組事例紹介」 講師:横浜市理容連合会 柴垣会長) 新春交流会(ワークピア横浜・33 団体 77 人参加)

- 2·18 三役会(技能職者交流室) 常任理事会(技能職者交流室) 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 3·22 三役会(技能職者交流室) 常任理事会(技能職者交流室)
- 3·29 第 31 回ボウリング大会 (新杉田ボウル・13 チーム 52 人参加)
- 4·8 三役·常任理事会(技能職者交流室) 理事会(技能文化会館802号室)
- 5·13 三役·常任理事会(技能職者交流室) 理事会(技能文化会館802号室)
- 5·30 三役·常任理事会(技能職者交流室) 理事会(技能文化会館802号室)
- 6.8 役員改選委員会(技能職者交流室)
- 6·16 役員改選委員会(技能職者交流室)
- 6·23 三役会(技能職者交流室) 平成23年度総会(技能文化会館多目的ホール) 交流会(技能文化会館多目的ホール・30団体78人参加)
- 6·30 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 7.15 三役,常任理事会(技能職者交流室)
- 7.22 理事会 (技能文化会館 802 号室)
- 8·8 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 8.24 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 8・31 「技連協だより第44号」発行
- 9.7 三役・常任理事会(技能職者交流室)
- 9·11 第 32 回よこはま技能まつり (横浜公園・参加団体: 技連協加盟団体 29 団体、 その他 3 団体)
- 10.5 三役・常任理事会(技能職者交流室)
- 10.21 理事会(技能文化会館802号室)
- 10·25 第 45 回横浜市技能功労者表彰式(技能文化会館) 第 43 回横浜市優秀技能者表彰式(技能文化会館) 第 3 回横浜市技能職者奨励賞贈呈式(技能文化会館)
- 11·11 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 12・15 忘年親睦会 (パセラ・参加 17 団体)

# 平成 24年 2012

# 平成 25年 2013

### 月・日 ▶ できごと

- 1·16 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 1·23 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 1.27 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 2・10 新春交流会 (メルパルク横浜・29 団体 89 人参加)

- 3·2 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 3·10 第 32 回ボウリング大会 (ハイランドレーン・11 チーム 44 人参加)
- 3・30 三役会(技能職者交流室) 「技連協だより第45号」発行
- 4·13 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 5·2 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 5·8 理事会(技能文化会館 802 号室) 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 6·14 平成 24 年度青年部総会(技能文化会館 801 号室)
- 6・26 三役・常任理事会 (技能職者交流室) 平成 24 年度総会 (技能文化会館多目的ホール) 交流会

(技能文化会館多目的ホール・26 団体 79 人参加)

- 7·12 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 8·2 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 8.7 理事会(技能文化会館802号室)
- 9・1 「技連協だより第46号」発行
- 9·11 理事会(技能文化会館802号室)
- 10·4 三役·常任理事会(特別会議室)
- 10·14 第 33 回よこはま技能まつり (横浜公園・参加団体: 技連協加盟団体 30 団体、 その他 2 団体)
- 10.19 三役・常任理事会(技能職者交流室)
- 10·30 第 46 回横浜市技能功労者表彰式(技能文化会館) 第 44 回横浜市優秀技能者表彰式(技能文化会館) 第 4 回横浜市技能職者奨励賞贈呈式(技能文化会館)
- 11.9 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 11.15 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 11.22 第15回全国技能職団体連絡協議会会議(南足柄市)
- 12.15 忘年親睦会(中華街「笑里寿」・参加16団体)

### 月・日 ▶ できごと

- 1·10 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 2·13 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 2·19 研修会 (メルパルク横浜・「横浜市の地震への備え」 講師:横浜市消防局危機管理室危機管理課 担当課長 志村雄二氏)

新春交流会 (メルパルク横浜・30 団体 90 人参加)

- 3・1 「技連協だより第47号 | 発行
- 3·10 第 33 回ボウリング大会 (若葉ハイランドレーン・10 チーム 40 人参加)
- 3·12 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 3.26 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 4·26 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 5·20 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 6·6 三役·常任理事会(技能職者交流室) 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 6・24 三役会(技能職者交流室) 平成25年度総会(技能文化会館多目的ホール) 交流会 (技能文化会館多目的ホール 29 団体77人参加)
- 7.19 三役,常任理事会(技能職者交流室)
- 8·7 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 8.9 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 8・25 夏休み特別企画 「匠の小学校」 (技能文化会館)
- 9・1 「技連協だより第48号」発行
- 9.20 三役,常任理事会(技能職者交流室)
- 10.7 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 10·20 第 34 回よこはま技能まつり (横浜公園・参加団体: 技連協加盟団体 30 団体、 その他 2 団体)
- 11・6 第 47 回横浜市技能功労者表彰式 (技能文化会館) 第 45 回横浜市優秀技能者表彰式 (技能文化会館) 第 5 回横浜市技能職者奨励賞贈呈式 (技能文化会館) 受賞者交流会 (多目的ホール・19 団体 65 人参加)
- 11.7 第 16 回全国技能職団体連絡協議会会議(名古屋市)
- 11·18 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 12・13 忘年親睦会 (ホテル横浜ガーデン・参加 21 団体)

# 平成 26年 2014

# 平成 27年 2015

	1	$\Box$	- b-	-	7	+	-"	1.
⊢	١.	Н	- 12	١	("	$\overline{}$	_	~

1·7 三役·常任理事会(技能職者交流室)

- 2·5 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 2.10 研修会

(メルパルク横浜・「地震・火災から身を守るために」 講師:公益社団法人横浜市防火防災協会 非常勤講師 市村喜正氏)

### 新春交流会

(メルパルク横浜・25 団体 96 人参加)

- 3・1 「技連協だより第49号 | 発行
- 3・18 第 34 回ボウリング大会 (若葉ハイランドレーン・10 チーム 40 人参加)
- 4·4 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 4.23 理事会(技能文化会館802号室)
- 5·19 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 6.13 理事会(技能文化会館802号室)
- 6·30 三役・常任理事会(技能職者交流室) 平成26年度総会(技能文化会館多目的ホール) 交流会

(技能文化会館多目的ホール・31 団体 74 人参加)

- 7·23 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 7・27 匠の小学校(技能文化会館)
- 8・1 「技連協だより第50号」発行
- 8.11 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 8・17 匠の小学校(技能文化会館)
- 9·24 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 10.6 理事会(技能文化会館802号室)
- 10·14 第 35 回よこはま技能まつり (横浜公園・参加団体:技連協加盟団体 32 団体、 その他 1 団体)
- 11·5 第 48 回横浜市技能功労者表彰式 (技能文化会館) 第 46 回横浜市優秀技能者表彰式 (技能文化会館) 第 6 回横浜市技能職者奨励賞贈呈式 (技能文化会館) 受賞者交流会 (多目的ホール・18 団体 50 人参加)
- 11.7 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 11・13 第 17 回全国技能職団体連絡協議会会議 (横浜市・メルパルク横浜 14 都市 61 人参加)
- 12・1 「技連協だより第51号」発行
- 12・15 忘年親睦会(居酒屋「百萬石」・参加 12 団体)

### 月・日 ▶ できごと

- 1.19 理事会(技能文化会館 801 号室)
- 2.16 研修会

(メルパルク横浜・「東日本大震災の記録と記憶」 講師: 仙台市技能職団体連絡協議会 青年部長 鈴木義智氏 青年部会計監査 高野徹氏)

### 新春交流会

(メルパルク横浜・24 団体 79 人参加)

- 3・1 「技連協だより第52号」発行
- 3·13 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 3·17 第 35 回ボウリング大会 (若葉ハイランドレーン・11 チーム 48 人参加)
- 4·1 理事会(技能文化会館802号室)
- 4·27 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 5.27 理事会(技能文化会館802号室)
- 6・23 三役・常任理事会(技能職者交流室) 平成27年度総会(技能文化会館多目的ホール) 交流会

(技能文化会館多目的ホール・31 団体 75 人参加)

- 7·22 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 8・1 「横浜市技連協だより第53号」発行
- 8.10 理事会(技能文化会館802号室)
- 8・12 匠の小学校(技能文化会館)
- 9.3 三役,常任理事会(技能職者交流室)
- 10·9 三役·常任理事会(技能職者交流室) 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 10·14 第 36 回よこはま技能まつり (横浜公園・参加団体: 技連協加盟団体 32 団体、 その他 1 団体)
- 11・5 第 49 回横浜市技能功労者表彰式 (技能文化会館) 第 47 回横浜市優秀技能者表彰式 (技能文化会館) 受賞者交流会 (多目的ホール・18 団体 55 人参加)
- 11.12 第 18 回全国技能職団体連絡協議会会議(福岡市)
- 11.20 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 11・28 ハマの職人展 (新都市プラザ地下2階/主催:横浜市経済局/出展 団体 4 団体)
- 12・1 「横浜市技連協だより第54号」発行
- 12·15 忘年親睦会 (出世居酒屋「いっすんぽうし」・参加 12 団体)

# 平成 28年 2016

# 平成 29年 2017

### 月・日 ▶ できごと

- 1.15 理事会(技能文化会館801号室)
- 2·8 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 2.15 研修会

(ホテル横浜ガーデン・「イマドキの若手職人の育て方」 講師:株式会社キャラウィット代表取締役 上岡実弥子氏)

新春交流会 (ホテル横浜ガーデン・26 団体 91 人参加)

- 3・1 「技連協だより第55号」発行
- 3·23 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 4·6 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 4.15 理事会 (技能文化会館 802 号室)
- 6·3 三役·常任理事会(技能職者交流室) 理事会(技能文化会館 801 号室)
- 6·16 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 6・21 平成 28 年度総会(技能文化会館多目的ホール) 交流会 (技能文化会館多目的ホール・29 団体 74 人参加)
- 7.7 三役,常任理事会(技能職者交流室)
- 7.22 理事会(技能文化会館 801 号室)
- 8·21 匠の小学校 (技能文化会館/主催:株式会社キャリアライズ/ 12 団体参加/体験者810人/来場者1.600人)
- 9・1 「技連協だより第56号」発行
- 9・11 ハマの職人展 (みなとみらい駅みらいチューブ/主催:横浜市経済局 /出展団体3団体/来場者約500人)
- 9.28 三役,常任理事会(技能職者交流室)
- 10.7 理事会 (技能文化会館 802 号室)
- 10・23 第 37 回よこはま技能まつり (横浜公園・参加団体:技連協加盟団体 32 団体、 その他 3 団体)
- 11・8 第 50 回横浜市技能功労者表彰式 (技能文化会館) 第 48 回横浜市優秀技能者表彰式 (技能文化会館) 第 7 回横浜市技能職者奨励賞贈呈式 (技能文化会館) 受賞者交流会 (多目的ホール・15 団体 67 人参加)
- 11.17 第19回全国技能職団体連絡協議会会議(仙台市)
- 11·28 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 12・15 忘年親睦会 (ワシントンホテル・参加 16 団体)

### 月・日 ▶ できごと

- 1・8 畠山滋元会長ご逝去
- 1.10 三役,常任理事会(技能職者交流室)
- 1.16 理事会 (技能文化会館 801 号室)
- 1.30 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 2·13 研修会 (ホテル横浜ガーデン・「お客様の興味を引くキャッチ コピーのポイント」 講師:株式会社キャラウィット代表取締役 上岡実弥子氏)

新春交流会 (ホテル横浜ガーデン・26 団体 90 人参加)

- 3・1 「技連協だより第57号 | 発行
- 3・14 第 36 回ボウリング大会 (スポーツ & スパリゾートソプラティコ横浜関内・ 9 チーム 42 人参加)
- 3·29 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 4·14 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 4·28 理事会(技能文化会館 801 号室)
- 5·15 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 5.24 理事会(技能文化会館802号室)
- 6・21 平成 29 年度総会(技能文化会館多目的ホール) 交流会 (技能文化会館多目的ホール・23 団体 73 人参加)
- 7·5 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 8.2 理事会(技能文化会館603号室)
- 8·13 匠の小学校 (技能文化会館/主催:株式会社キャリアライズ/ 10 団体参加/体験者 680 人/来場者 1,400 人)
- 8・20 平成 29 年度「ハマの職人展」 (マークイズみなとみらい/主催:横浜市経済局/ 出展団体 2 団体/来場者約 500 人)
- 10・1 「技連協だより第58号」発行
- 10.12 理事会 (技能文化会館 801 号室)
- 10・22 第 38 回よこはま技能まつり (横浜公園・参加団体:技連協加盟団体 27 団体、 その他 3 団体)
- 11・7 第 51 回横浜市技能功労者表彰式 (技能文化会館) 第 49 回横浜市優秀技能者表彰式 (技能文化会館) 第 8 回横浜市技能職者奨励賞贈呈式 (技能文化会館) 受賞者交流会 (多目的ホール・12 団体 59 人参加)
- 11.16 第 20 回全国技能職団体連絡協議会会議 (川崎市)
- 11·20 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 12.4 理事会(技能文化会館801号室)
- 12·15 忘年親睦会 (ヨコハマアジアンダイニング&バー・参加 14 団体)

# 平成 30年 2018

F	١	П	- 1	h	7	+	-"	L
-	٠.	П		_	( )	$\sim$		-

- 1.10 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 1·30 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 2.5 理事会(技能文化会館801号室)
- 2.13 研修会

(ホテル横浜ガーデン・「ブランディングとは?"技能の価値の伝え方"」 講師:株式会社キャラウィット代表取締役 上岡実弥子氏)

新春交流会 (ホテル横浜ガーデン・24 団体 71 人参加)

- 3・1 「技連協だより第59号」発行
- 3·20 第 37 回ボウリング大会 (上大岡アカフーボウル・8 チーム 39 人参加)
- 4.6 三役会(技能職者交流室)
- 4·24 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 5.7 理事会(技能文化会館 802 号室)
- 5.23 三役会(技能職者交流室)
- 5・30 平成 30 年度総会(技能文化会館多目的ホール) 交流会 (技能文化会館多目的ホール・27 団体 60 人参加)
- 7·5 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 7.9 理事会(技能文化会館802号室)
- 7·29 匠の小学校 (技能文化会館/主催:株式会社キャリアライズ/ 13 団体参加/体験者 934 人/来場者 1,900 人)
- 8·18 ハマの職人展 (マークイズみなとみらい/主催: 横浜市経済局/ 出展団体 7 団体/来場者約 1,108 人)
- 9.10 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 9·21 三役·常任理事会(技能職者交流室)
- 10.5 理事会(技能文化会館 603 号室)
- 10·21 第 39 回よこはま技能まつり (日本大通り・参加団体:技連協加盟団体 28 団体、 その他 2 団体)
- 10.25 三役会(技能職者交流室)
- 11・6 第 52 回横浜市技能功労者表彰式 (技能文化会館) 第 50 回横浜市優秀技能者表彰式 (技能文化会館) 第 9 回横浜市技能職者奨励賞贈呈式 (技能文化会館) 受賞者交流会 (多目的ホール・10 団体 49 人参加)
- 11.15 第21回全国技能職団体連絡協議会会議(大阪市)
- 11・20 横浜市技能職団体連絡協議会創立 50 周年記念式典 (ホテル横浜ガーデン)
- 12.12 三役会(技能職者交流室)
- 12・15 忘年親睦会 (ヴォーグ・参加 7 団体)

# 技連協50年

# 団体プロフィール



### 神奈川県スクリーン・デジタル印刷協同組合

神奈川県スクリーン・デジタル印刷協同組合

●スクリーン印刷技術者



理事長 堀 内 裕 司

### スクリーン印刷とは (お祝いのことばに代えて)

横浜市技能職団体連絡協議会の創立 50 周年を心からお祝い申し上げます。半世紀にもわたり技連協の活動が続けられてきたことに感謝いたしますとともに、歴代の役員の皆様に敬意を表します。

私たちの組合の名称は「神奈川県スクリーン・デジタル印刷協同組合」で、9年前にデジタル機器 を多用するようになったことと、デジタル印刷(インクジェット出力等)専業事業所を取り込むこと を目的に、時代の変化に合わせて「デジタル」を付け加えました。まるで匠の技とは縁がなさそうに 見えますが、その源流のひとつは横浜の開港直後から始まった生糸の輸出とその後政府が産業の奨励 と貿易の振興に力を入れ、明治6年のウィーン万国博覧会に地元の絹織物商に絹織物の出展を勧めた ことをきっかけに、ヨーロッパに日本の絹織物の良さが伝わり、寝衣や絹羽二重手巾(当時はハンカ チのことを手巾と言った)輸出が始まり、当初ほとんどが白か無地染め品であったものに明治18年 に柄物として「絵ハンカチ」が製造され、このハンカチは瞬く間に人気商品となりました。このころ の柄付けは木版捺染で柄の粗いものしか出来なかったため海外の品質の求めに応えようと新たな技 法が研究されて、明治の中ごろに型紙を使い、刷毛で刷り込む捺染法が登場し「更妙捺染」と呼ばれ、 今日の「スクリーン捺染」の基礎となりました。その後時代とともに技法は進化し、さらに関東大震 災後の産業の復興の中で、アメリカからスクリーン捺染の新たな技術が加わり捺染法として定着しま した。このアメリカから持ち込まれたスクリーン捺染も遡れば、1905 年に京都を訪れたイギリス人 が型紙友禅の技法にヒントを得て自国でスクリーン印刷の技法を作り上げ、それがアメリカにわたり 印刷法として確立したもので、原点はどれを取っても日本の職人の生み出した技術です。現在の組合 員の我われもこの歴史の重みを感じつつ、先人たちの努力に負けないよう世界に影響を発せられるよ うに日々技能の研鑽に励んで行きたいと思います。

技連協の仲間の中にも同じような思いを背負って活動をされている団体も多いと思いますので、この先の50年に向かっても、ともに励ましあいながら技能職の素晴らしさを継承していく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。





























「匠の小学校」多色刷り体験





















# (一社) 横浜市鍼灸マッサージ師会

- 一般社団法人横浜市鍼灸マッサージ師会
- ●鍼灸マッサージ師



会長 荒 井 務

会	長	荒	井		務
副会長	・保険部部長	角	田	敏	男
副会長	・保険部次長	畄	部	裕	志
総務音	狠長	大	淵		真
経理部	狠長	松	野		徹
学術部	張	谷		修	_
広報音	狠長	I	藤	英	_
福利厚	生部長	根	本	悦	子
組織音	張	権	田	朋	子
監	事	大	沼	和	江
監	事	太	田	耕	作
事 務	長	豊	田	敏	子





















一般社団法人横浜市鍼灸マッサージ師会のあゆみ

横浜市鍼灸マッサージ師会は平成20年、一般社団法人神奈川県鍼灸マッサージ師会(当時社団法 人)の下部組織であった横浜市内11の鍼灸マッサージ師会が合併し、中間法人として設立致しました。 その後平成22年4月1日には、中間法人から一般社団法人に移行し現在に至ります。

横浜市技能職団体連絡協議会に加盟した、旧横浜市鍼灸マッサージ師会は横浜市国民健康保険を 取扱う独自の団体として昭和28年設立されました。設立当時は健康保険を取扱う会員が主でしたが、 その後ほとんどの有資格者が参加することとなります。

中間法人横浜市鍼灸マッサージ師会が設立される以前は、市内11師会が神奈川県鍼灸マッサージ 師会直下の師会として存在していました。

各師会にはそれぞれ長い歴史があり、一番古い西区鍼灸マッサージ師会は設立が明治 45 年 1 月 25 日となっています。

第2次世界大戦が終結した時の話になります。GHQマッカーサー元帥から、当時の厚生省に対し「鍼 灸をはじめ、あん摩、柔道整復等、医師以外の者の治療行為の禁止」の要望が出され、昭和22年9 月23日、厚生省はこれを医療制度審議会に諮問しました。この要望に対して、私たちの先輩方、医 療関係者をはじめ多くの日本人が当時の厚生省に働きかけました。GHQ 軍政部のフィリップ・エイ・ アイズマン軍医をはじめ、厚生省の担当官に鍼施術を行い、鍼は痛いものでも野蛮な風習でもなく、 東洋独自の伝統的な治療体系を持った立派な医術であることを力説しました。また、視覚に障害を 持った先輩方を中心に何日にもわたり厚生省前に座り込みをして、鍼灸マッサージの必要性を訴え続 けました。横浜市からも多くの先輩先生方が座り込みに参加したと聞いております。当時の日本医師 会の中山寿彦会長や厚生省の担当官も鍼灸に対して好意的に対応して下さり、多くの方々のご支援と 先輩方の熱心な努力により GHQ の要望はしりぞけられ、昭和 22 年 12 月 20 日、「あん摩、はり、きゅ う、柔道整復等営業法」として身分法を確立することができました。

今日私たちが鍼灸マッサージにより皆様のお役に立てるのは、多くの方の支援と諸先輩方の多大な る努力によるものです。これからも、私たちは歴代の先輩方のご努力に感謝し、公衆衛生の向上及び 地域住民の健康保持増進に寄与してまいります。























### 横浜畳組合連合会

横浜畳組合連合会 ● 畳工技能士



会長 芦 原 将

### 《畳と暮らす未来へ》

横浜市技能職団体連絡協議会の創立 50 周年を心からお祝い申し上げます。母体となる神奈川県畳工業協同組合も昭和 52 年 4 月 8 日発足以来、本年平成 30 年 1 月 11 日に創立 40 周年を迎え、記念式典を挙行しました。畳業界の発展を図ると共に幅広い事業に積極的に取り組み、組合員の経営改善や技術向上に向けた支援など展開をしてまいりました。しかしながら、昨今若者のものづくり離れが進んでいると言われ、技術者・技能者の高齢化と後継者不足が課題であり、和室離れの住宅環境、新規住宅着工数の激変や家屋の洋風化等によりきびしい状況下になっています。組合加盟店は「安心して高品質」を提供できる「信頼できる畳店」である事を強調し「品質管理」に対する自信と顧客の方々への「安心」「安全」を与える事が重要であると思います。

全日畳は品質・安全を求めるお客様の声に応える為「畳の品質表示」を積極的に推進していく組織であり、品質管理責任者を認定する講習会を展開し、この資格を付与する講習会が全国各支部で定期的に開催され、組合員は5年に一度の資格更新時に講習会を義務付けられています。品質管理責任者資格更新セミナー第一回講習会平成20年1月19日・20日・27日(3日間)受講者147名。第二回更新セミナー平成25年3月20日受講者79名、平成25年6月14日・15日・16日新規受講者11名、第三回平成29年8月29日受講者57名。

再度、品質管理の意義と目的である"品質保証マークの義務(証紙)貼付"についての推進を認識しました。近年他業界でも多く発生した食材や原材料の偽造、不当な表示によって消費者だけでなく、業界の他社にも大きな被害を受けており、畳業界も同様の問題が潜在化しています。

"品質保証マークの義務(証紙)貼付"の有効性を確認し、各自がルールに沿ったシールの貼付けをすることが必要であり、これが公正競争規約制度に広がり、ユーザーの求めている要求を満足させることへとつながるものであると思います。

此処 10 年間の日本経済自体、世界経済の持ち直しやインバウンドの需要の伸び等を受けて大企業を中心に回復基調が続いております。平成 30 年度の見通しも、不安定な国際情勢、為替相場や原油価格の不透明感による経営環境の悪化、人手不足による人件費上昇圧力の高まりから、企業経営は慎重姿勢が予想されます。そのような中、当組合では若年層の畳技術向上のための「技能向上講習会」や地域の小中学生を対象に「ものづくり職業体験講座」を開催し、様々な取り組みを実施しております。新たな活力を創出するものとして、業界のみならず地域社会より期待され、より一層大きな役割を果たしていくものと確信しております。

毎年実施している中学校に出向いての職業体験学習、講師としてのキャリア教育の一環とし、共生・ 共感を持って勤労の尊さや意義などを理解し、正しい職業観を育み、地域・中学校とより一層の協働





















を図り、地域理解を深めています。

神奈川県職業能力開発協会「ものづくりマイスター」の認定(30名)を受け、若年技能者人材育 成支援事業の一環で年間(中学校・高等学校)6、7校へ実技指導に行っています。

横浜市技能職団体連絡協議会の対象事業欄に掲載している事業は毎年実施しています。今後共相互扶助 の精神のもと、積極的な事業を展開し、組合員の経営向上と業界発展の為、ご尽力いただきたいと思います。

組合員の減少と共に組合員数も平成30年3月31日現在、神畳協100名・横浜畳組合9支部104名 計 204 名になりました。

この伝統ある横浜連合会の前身は、明治5年頃横浜畳職組合として発足し、昭和17年横浜畳組合 連合会として組合名を変更し、現在に至ります。組合員のピーク時には273軒の事業所があり、戦 後技連協に入会しました。

冒頭にあります「畳と暮らす未来へ」を念頭におき、我々が継承してきた畳文化を未来へ繋ぐ為にも次 年度は、更なる組合活動向上に向け、歩んで参りたいと思います。



新年祖神祭



新年祖神祭



匠の小学校





夏期講習会



匠の小学校ミニ畳作り



匠の小学校ストラップ作り























# 神奈川県クリーニング生活衛生同業組合

神奈川県クリーニング生活衛生同業組合 クリーニング業



巌 専務理事  $\blacksquare$ 村

横浜市技能職団体連絡協議会の設立50周年を心からお祝い申し上げます。

技連協加盟団体の活動を支えてこられました歴代の役員の皆様の努力と、また日頃から技能職の技 術向上と継承を目的とする理念の元、活発に活躍されてこられた皆様方の 50 年という大きな節目を 迎えられた事に、心からお祝い申し上げます。

我々クリーニング業界においても各団体と同様に、団塊世代のあとの後継者問題を抱えておりま す。組合員の減少に歯止めがかかりません。

神奈川県クリーニング生活衛生同業組合は今般、50年以上使用し老朽化した会館の建て替えを 完了し、まず器を替え、組合員の減少に少しでも歯止めがかけられる様、まず1歩を進めた所です。

全ての技能職の継承がますます難しくなるなか、大型化し、大量消費の弊害が見られるなか、今の 生活を少しでも是正できる手作業の良さを大きく宣伝し、相互の結束とたゆまぬ研鑽をつまれ、これ まで培ってきた力を十分に発揮されます様、ご期待申し上げます。

これからも横浜市技能職団体連絡協議会のますますのご発展と、協議会の各団体職に携わる皆様の ご健勝とご発展を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせて頂きます。























組合加盟店を表すシンボルマーク クリーニングのクリちゃん



KCK 馬車道(クリーニング会館)





















# 横浜染物組合

横浜染物組合 ●染物洗張



理事長 長谷川 裕 男

### ごあいさつ

着物を愛する貴方様、横浜染物組合は、明治 31 年に設立された横浜和洋染洗張業組合から 始まり昭和 45 年 (1970) に現在の組織になりました。

当組合に加盟しているお店は、呉服販売から無地染、洗い張り、紋章、しみ抜き、丸洗い、 手描き友禅染等の着物・呉服の伝統技術の専門職グループでございます。

横浜染物組合に着物・呉服の事なら全て、安心してお任せ下さい。

### 《横浜染物組合役員名簿》

理 事 長	長谷川 裕 男	
副理事長	田 村 猛	山田正一
会 計 部	石 井 浩 靖	田 村 猛
庶 務 部	浜 田 守 安	
企画宣伝部	横 山 清 和	保 延 廣 昭
厚生部	山田正一	
理事会幹事	内 野 健 一	
監 事	西 澤 正太郎	杉 山 保





















大切な着物のお手入れは 横浜染物組合の加盟店にお任せ下さいませ。

京染・誂染・染替・無地染・しみ抜き・湯のし本湯とおし・洗い張り・紋入れ・生洗い・丸洗いパールトーン加工・呉服・和装小物販売着物リサイクル・着物・帯のお仕立て着物・呉服のクリニック全般などお気軽にご相談下さい。



### 横浜染物組合の歩み

明治31年 横浜和洋染洗張業同業組合設立

大正 15 年 横浜染洗張業組合設立認可

昭和22年 横浜衣服洗染組合を再建

昭和45年 現在の組織と成る

昭和63年8月5日 組合員138名

平成21年1月 組合員41名

平成30年1月現在組合員24名





















# 神表協横浜表装インテリア協会

神表協横浜表装インテリア協会

●表具師



会長 天 笠 純 雄

経師店(きょうじてん)、表具店(ひょうぐてん)とは —— 紙、布を用い、襖などの建具や掛け軸を製作・修復する緻密な手仕事を生業とする業種です。

湿度が高く、カビに侵されやすい日本の土地柄ということもあり、自らが調湿の機能を兼ね備えるという特色がある襖や間仕切りとしての障子、装飾品としての屛風、掛物を主に手掛け、近年ではその技能を、壁紙を施工する分野においても発揮しております。

横浜表装インテリア協会は横浜市内と近隣の表具店、経師店、内装店で構成される会で、現在、33 事業所が加盟しています。

横浜は明治の頃より西洋の文化が浸透し始めた土地であり、その影響は建築内装にもいち早く表れ その歴史も長い。

そんな横浜の土地で古くから続く経師の技を維持・発展させるために生まれたのが、「横浜経師請 負業組合」です。



刷毛供養





















大正14年に設立された横浜経師請負業組合は外国人の多く居留する横浜の土地柄から、襖、障子、 表装の他、壁紙の施工に経師の技術を応用し、西洋化する内装の流行にも柔軟に対応してきました。 その後、昭和に入り会の名称を「横浜経師組合連合会」、第2次世界大戦後に「横浜経師表装連合会」、 そして「横浜表装インテリア協会」にと時代に即しその名称を変更してきました。

地区に区分された各々の地域では日々新しくなる技術の情報交換や継承が職人同士の中で活発に 行われ、親方から弟子への技術継承とはまた違った、双方向的な相互協力の姿勢で技を磨いてゆく気 質が作られています。

横浜表装インテリア協会独自の行事としては、経師・表具の必需品 "刷毛"を製作するにあたり 動物の毛が使用されることが多い為、材料となった動物達に感謝しその魂を供養するために「刷毛 供養」という全国的に見ても珍しい貴重な行事を発案し行っており、毎年行われるこの刷毛供養は今 年で45回目の節目を迎える息の長い事業です。

当協会は横浜市技連協の事業に関わる活動として、『技能まつり』と『匠の小学校』等に参加して おります。

屏Í風製作の知識を応用した「パタパタマジック屏風」、紙を貼る文化に親しんでもらう「ペン立て」 などの製作・参加型のイベントを行い、会場を訪れた子供たちに経師・表具の職能の基本となる"紙 を貼る"などの技術に触れる機会を作る活動をしております。



技能まつり



パタパタマジック屏風























# 首都圏建設産業ユニオン横浜支部

首都圏建設産業ユニオン横浜支部

(略称:建設ユニオン横浜)

●建築職



### 執行委員長 長 江 健 吉

技連協 50 周年おめでとうございます。当組合は、全建総連(全国建設労働組合総連合)に加盟している東京・渋谷に本部を置く建設労働組合です。その中の神奈川県・横浜で働く建設技能労働者・ 事業者が加入しています。

技連協には、あとから加入承認をいただき、みなさまとともに、横浜の建設技能者の技能と地位向 上のために、とりくみをおこなっています。

技能まつりや都筑区民まつりでの、住宅相談会・木工教室・銅板ネームプレートや住宅改修パネル展示などの企画を通じて、会員のみなさまとともに、地域住民のみなさまのホームドクターとして、活動をしていきます。

また、建設ユニオンでは、建設業での社会保険加入問題をはじめとする事業所対策、建設キャリアアップシステムの開始による仲間の登録業務、いよいよ始まる「働き方改革」への事業所の就業規則の整備など、建設職人の仕事とくらしをまもるとりくみに、尽力する所存です。

### 建設ユニオン機類の主なとりくみ



支部定期大会では、分会代議員があつまり、年間方針を検討。 終了後は、恒例の新年会です。























技能まつりでは銅板ネームプレートや木工教室を実施



青年部の仲間は、楽しくワイワイと



分会員交流の千葉の潮干狩り



都筑区民まつりでは、住民の方から 住宅相談もありました



辻堂海岸での地引網&バーベキュー この年は、魚もシラスも大量でした



年輪の会(高齢者の会) カラオケ大会



賃金・労働条件改善をめざして





















# 横浜市管工事協同組合

横浜市管工事協同組合

●配管技能士



理事長 石田 隆

### 設立50周年に寄せて

横浜市技能職団体連絡協議会が設立 50 周年の節目を迎えられ、新たなステージへ歩みを進められることを、心からお喜び申し上げます。

貴協議会はこれまで会員向けの各種研修会、講習会等の様々な活動や市民 PR として技能職者の優れた技能・技術を披露する「よこはま技能まつり」の開催を通して、ものづくりのすばらしさを伝えており、技能者の社会的経済的地位の向上とともに後継者育成に力を注いでいただき、横浜の産業経済に大きく貢献しておられますことに深く敬意を表します。

紙面をお借りし、横浜市管工事協同組合についてご紹介をさせていただきます。

当組合は、日本の近代水道発祥の地となった横浜市で、長年にわたり貴会のお力添え・ご指導を賜り、昨年で創立80周年を迎えることが出来ました。

現在 18 支部、組合員数 300 社余を擁し、建築物の設備をはじめ都市の生活上不可欠な上下水 道等の施設に至るまで広範囲にわたる部門に係り市民生活と密接な関係を有し、日々市民の皆様 に安全、安心な「命の水」をお届けするライフラインの一翼を担っております。

当組合は、有事を想定し地域住民参加型合同防災訓練を組合の大切な事業として実施しております。我々に課せられた応急復旧活動の責務を全うするためには、横浜市との連携に加え、地元























住民との連携・協力・理解が重要となります。

尚、熊本大震災では、組合員2班が、ダンプに重機の工具類を載せ現地に赴き、水道の復旧への協力や支援金の寄付、80周年記念イベントでは、くまモンを招き熊本地元物産の大量購入などもさせていただきました。

今後も、貴会そして横浜市と連携し、社会貢献の促進と共に横浜市全域をカバーする管工事組合として日々研鑽してまいります。

過去から創意工夫を重ねながら受け継がれてきた技能は、生活の知恵の結晶であり、横浜の貴重な財産であります。本物の技能を貴重な財産として継承し、ものづくりの大切さを養う力として貴協議会が果たす役割は大きいものがあり、今後も引き続き、ご活躍を期待いたします。

むすびに、横浜市技能職団体連絡協議会のますますのご発展とご活躍を祈念いたしましてお祝 いの言葉とさせていただきます。





















# 神奈川県型枠工事業協同組合

神奈川県型枠工事業協同組合 ●型枠大工



理事長 小 泉 義 明

### ご挨拶

この度、横浜市技能職団体連絡協議会が創立50周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

また日頃より貴協議会よりご指導をいただいておりますこと厚くお礼申し上げます。

私共、神奈川県型枠工事業協同組合は昭和 40 年に創立され、おかげをもちまして平成 27 年に50 周年を迎えることが出来ました。

顧みますと、組合発足当時は、高度成長時期であり、国土復興という社会に対する大きな責務 もあり繁忙な時期で、その後、オイルショックによる停滞期、バブル経済による工事量の急増期、



型枠技能検定の様子





















バブル崩壊以後20年に及ぶ低落の苦難期、リーマンショックによる窮乏期、東日本大震災後の本格復旧工事の増加、また民間工事の増大、新政権のアベノミクス効果、東京オリンピック・パラリンピックによる経済効果等、当組合の53年は激動な時代でありました。

この間に発生した業界の苦境に際して、多くの会員が倒産、廃業に追い込まれ、技能者も多数 業界を去り、今日の技能者の不足を招く結果となりました。

これに対し適正な型枠単価の維持等の要望を上部団体である(一社)日本型枠工事業協会と共に元請団体や行政官庁に陳情する活動を行い、また技能者の育成では『型枠技能講習会』を開催し、『建設労働者緊急育成支援事業』など技能の継承を継続して行い、災害防止活動においては、『労働災害防止大会』を毎年開催して災害防止の高揚を図ってきました。

今日、建設産業を取り巻く環境が大きく変化しつつあり、将来を見通すことが難しい中、型枠 工事業は、大きな岐路に立たされていると思われます。

若い技能工が、夢と希望が持てる産業として、努力し魅力ある業界にしていきたいと念願して おります。

横浜市技能職団体連絡協議会におかれましては、今後も技能職の振興とまたモノづくりのすば らしさを広く伝えていただきたいと願っており、この50周年を節目として、より一層のご発展、 ご繁栄を心より祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



労働災害防止大会(関内ホール)





















# (一社) 神奈川県広告美術協会 横浜横須賀支部

- 一般社団法人神奈川県広告美術協会 横浜横須賀支部
- ●看板製作士



### 支部長 高 嶋 淳 二

本協会が神奈川県広告美術協会として設立されたのは、80年程前の昭和29年11月16日でした。県内同業40余名が横浜に参集し、県内の屋外広告事業者の大同団結をしたのです。昭和41年には神奈川県屋外広告業協同組合へと発展、昭和56年9月22日に社団法人神奈川県広告美術協会が設立されました。

法改正により、平成25年4月1日に一般社団法人神奈川県広告美術協会へ移行したことを受け、主として横浜横須賀の事業者により神奈川県広告美術協会横浜横須賀支部の誕生となりました。

私自身は、東京は荻窪で昭和43年7月に保安器材取り扱い業者を始めた父の会社に二代目として2001年1月に入社しました。

そもそもは、工事看板を手書きで書く、看板屋さんとして、建設現場に市民の「安全を守る掲示物」を提供する会社です。昭和55年には、横浜で法人化し、お客様との長年のお付き合いの中から、建設現場だけでなく公道での規制標識や道路標識、民間の店舗看板の製作施工等を手がけるようになりました。

そんな中、「手書き」から「機械化」への時勢の流れを予見。同業他社よりいち早く機械 化に取り組みました。現在では、材料も機械も日々進化し、看板という商品に求められる性





















能・品質が向上していく時勢ですが、看板そのものを仕上げる仕事は「人」の手によること は変わっていません。

昨今では、看板の落下事故が大きな話題を呼び、意匠上の品質に加え、より安全性の高い、 機能・仕様が求められなければならないと考えています。それが、「今の時代の看板」だと思っ ています。

未だ緒に就いたばかりの感はありますが、当神奈川県広告美術協会横浜横須賀支部では、 会員の皆様と共に、勉強会や研修会を開催して研鑽を積み、より多くの市民の方に「看板を 知っていただく | 活動の場として、「よこはま技能まつり | を選択しました。

これらの活動により、社会貢献、美しい景観の維持、優れた人材の育成、屋外広告物の安 全性の向上が実現できれば良いと考えております。

又、来るべき社会の担い手である子供たちにとっても、「屋外広告業」が、自分たちの 社会貢献や自己実現の場として参加したいと思うような業界を目指していきたいと考えて います。























### 横浜浴槽設備組合

横浜浴槽設備組合 ●浴槽設備技能士



会長 神 保 良 行

横浜市技能職団体連絡協議会様、50周年おめでとうございます。

当組合は、諸先輩の意思を継ぎ、今日に至っております。組合の創設は大正 14 年。横浜市内で木製桶を作る職人が集まり、当時の親方、弟子又は独立した者で結成されました。その為絆は強かったと思います。

「横浜桶工組合」として設立。昭和25年「横浜浴槽工業組合」と改名。その後、「横浜浴槽設備組合」となりました。100年以上続いています。

父は、桶職人として修業し風呂桶、小物等作っておりました。

店を構えてから当組合に加入しましたが、12、3年過ぎたころ体調不良の為、私が代わって出席するようになりました。昭和40年当時、木製の桶主流から、ポリバス等へ移行する時期に入り始めていました。現在、仕事内容も桶作りから住宅設備工事に移ってきました。

最盛期は桶職人を中心に 60 人以上だった組合員も、現在 6 名となりました。当組合の活動は、毎月1日の会合で「無尽」といわれる相互扶助を楽しみにしていました。現在も毎月、月始めに集まりますが、無尽はやりません。

話し合いは、業界の情報交換、会員の親睦などです。又、暑気払い、新年会、忘年会を実施しています。 2年前兵庫県の住宅機器メーカーの工場見学を1泊旅行を兼ねて実施しました。

少人数ながら一致団結してこれからも仕事内容は少しずつ変わっていくと予想されますが、頑張って続けてゆきたいと思っています。













































## 横浜市鳶工業連合会

横浜市鳶工業連合会 鳶職



会長 松 駍

横浜市鳶工業連合会は、横浜市消防局、神奈川県鳶工業連合会などたくさんの方の尽力を頂いて、 昭和56年に発足しました。横浜鳶工事協同組合、神奈川第一鳶工業組合、神奈川二番組、子安鳶職組合、 神港鳶職組合、鶴見鳶職組合の6組合で構成し、鳶工業の経営の合理化と安全施工の推進、並びに古 来より我々に伝わる伝統文化の保存と伝承に努めてきました。横浜市を六区に区割りし、各区に番組 を置き、各区各番組に組頭を決めています。それぞれが着る半纏も決められています。

6組合はそれぞれ独立した組合で、独自に地元で活動をしていますが、横浜消防出初式、国際仮装 行列、よこはま技能まつり等の行事の際は、協力して参加をしています。これらには毎年参加し、梯 子乗りや纏振り込み、木造りを披露しています。よこはま技能まつりでは、纏を先頭に木造を唱和し ながら会場内を練り歩き、開会式に花を添えています。

定期的に会議をもち広く交流を深める努力をしていますが、実は、後継者がなかなか育たないとい う現実があります。とくに梯子の乗り子については、人材不足です。伝統の技を私たちの代で終わら せることはできませんので、なんとか引き継いでいこうと、仕事のかたわら研修会や稽古を続ける努 力をしています。

代々伝わってきた鳶の独特の文化は、人間関係のむすびつきの強さでもあります。これまで培って きた「人を育てる文化」を、これからも大切にしていきたいというのが我々の願いです。

今後も、関係団体と連携しながら、伝統文化の継承、発展の為に力を注いでいく決意です。



















































## (公社) 神奈川県塗装協会

公益社団法人神奈川県塗装協会 ● 塗装技能士

横浜市南区吉野町 3-7 ヘンミビル TEL 045-325-8860 FAX 045-325-8944



会長 田 邉 周 二

### 祝 横浜市技能職団体連絡協議会設立 50 周年

本会は、明治中期に塗装工事請負業の発祥を起点に、以来、社会経済の変化に対応、幾多の変遷を 重ね昭和46年社団を図り、横浜市の技能振興は、横浜市内の支部を中心とする横浜地区支部協議会 での取り組みで、技連協事業やよこはま技能まつりへの参加、そして塗装技能講座や老人塗装講座を 開催した。

その後、体験教室、ボランティア活動(塗装指導を含む)等で社会貢献活動の強化充実に努めると 共に、平成25年11月1日には公益社団化へと移行認定、現在は、次の100年へ向けた技能振興の在 り方を模索している。

### 公益社団法人神奈川県塗装協会の活動

◆ 体験教室→ 子供向け「ペイント工房」市民向け「塗装講座 |

◆ ボランティア活動 初黄・日ノ出町浄化推進協議会事務室 内外装 神奈川県立南陵高校 P T A トイレ内壁塗装指導















































## 神奈川土建一般労働組合横浜市協議会

神奈川土建一般労働組合横浜市協議会 ● 建築職

横浜市神奈川区神奈川 2-19-3 建設プラザかながわ



#### 議長 荒 井 俊 喜

#### ♥ 団体紹介

神奈川土建一般労働組合は、1972年9月、建設労働者の政治的・経済的・社会的地位の向上をはかることを目的に産声を上げました。

設立当初は、僅か1,329人の小さな組合でしたが、現在は3万人を展望する組織へと発展しました。 そんな中、横浜市内に活動拠点を置く7つの支部で結成されたのが横浜市協議会で、9,000人を超える組合員が所属しています。

私たちは、建設労働者の仕事と暮らしを守り、建設産業における後継者の育成と技術・技能の継承を図ると共に地域住民の皆さまから信頼され、住まいに関わる様々な相談を寄せて頂ける組織を目指して活動を行っています。

#### ⇔ 技術・技能に関する活動のご紹介

#### 『夏休み親と子の工作教室』の活動

金槌や鋸を用いた木工工作やタイル、板金、左官に関する工芸を通じ、子供たちに物づくりの楽しさを体験してもらうと共に、建設技能者への興味を持ってもらうことを目的に「夏休み親と子の工作教室」を実施しています。2017年度は、全県で159会場、26,564人の児童・保護者・学校関係者が参加しました。指導者として参加した組合員は、延べ1,630人で地域組織と連携した活発な活動を行いました。

建労助成金の補助対象事業として、小・中学校の技術家庭の授業に講師を派遣する新たな取り組みも行っています。





















#### 『住宅デー』の活動

地域への奉仕活動を通じて、安心・安全・快適な住まいと街づくりを地域住民の皆さまと一緒に推進しています。1,500人の組合員が包丁研ぎやまな板削りなどの活動に参加し、全県各会場には5,000人を超える来場者を迎え、150件超の住宅相談が寄せられました。

#### 『神奈川土建技術研修センター』の活動

組合員の技術向上と研鑽を目的に設立された「神奈川土建技術研修センター」は、神奈川労働局 登録・神奈川県知事認定の職業訓練法人です。県知事からは優秀な技術者育成団体として、横浜市 長からは「技能職育成団体」として選定を受けるなど豊富な実績を上げています。



一級型枠施工技能士受験準備講座の様子





















## 神奈川県洋装組合連合会

神奈川県洋装組合連合会 ●婦人服裁縫師



会長 山 本 美恵子

横浜市技能職団体連絡協議会の50周年、心よりお祝い申し上げます。

私たち、洋装組合は昭和38年に横浜洋装組合9、藤沢、茅ヶ崎、横須賀、川崎、併せて13組を以って、翌39年に神奈川県洋装組合連合会として創立しました。

技能検定(国家試験)を実施して、合格者を増やし、技能士部会を設立し、昭和 46 年に神奈川県 技能職団体連合会に入会しました。

横浜市技連協の活動では、毎年「よこはま技能まつり」に参加し、テントで手づくりの小物などを 販売しています。また、ステージイベントとして、組合員の創作ファッションショーも賑やかに披露 させていただきました。年に一度の楽しい行事になっています。

また、横浜市技能文化会館では「匠の学校」「匠の小学校」を始め、平成28年からは一般の方を対象に「洋裁クラブ」を毎月2回開催しています。お陰様で洋裁を勉強したい方も増えて、順調に運営できています。時代と共に洋裁の世界も50年前とは変わり、オーダーの店も洋裁学校も減少しています。

しかし、まだまだ洋裁を習いたい方は沢山いると思います。

手づくりの温かさと、ものづくりの大切さを社会に拡め、後進育成にこれからもささやかではありますが、貢献していく所存です。

技連協の今後のご活躍と発展をお祈りします。

平成 30 年 8 月 31 日























よこはま技能まつり出店





神洋連ファッションショー























# 神奈川県和服裁縫協同組合

神奈川県和服裁縫協同組合 ● 和裁技能士

横浜市磯子区洋光台 6-36-8 TEL 045-833-4055 FAX 045-833-4066



理事長 塙 清 和

 理事長
 塙
 清
 和

 副理事長
 石
 井
 重
 一

及 川 伊東志

本部理事 石川元久

加藤憲一























横浜市技能職団体連絡協議会設立50周年おめでとうございます。

今年度、神奈川県和服裁縫協同組合は創立130周年を迎えます。

明治22年発足以来、明治、大正、昭和、平成とそれぞれの時代を通して、先人が築いた世界に誇るべき和服文化、和服裁縫を守り、更なる技術の向上に努力しております。

組合員数は昭和50年頃には約400名ほど居りましたが、現在は40名となってしまいました。平成元年には組合員平均年齢も60歳でしたが、現在は平均年齢が70歳と上がり高齢化に歯止めがかからない状態であります、若い方の力を募集しております。

当組合の1年間の事業活動を紹介したいと思います。

年度初めに組合の総会に始まり、7、8月には市、県の技術職団体のイベント(かながわ・しごと・ 技能体験フェスタ、匠の小学校、ハマの職人展)等に積極的に参加しております。9、10月は和裁 技術向上のための研修会を行っております。

10月末には市技連協主催の、よこはま技能まつりに毎回参加しており、組合員の手作りの作品を数多く出品させていただいております。

1月には組合員の皆様の参加による一晩泊まりの新年会の催しは、組合員の方々との親睦を兼ねて 行われております。

2月8日には毎年恒例の針供養が、横浜市磯子の岡村天満宮において行われており一般の方も参加 しています。式典後には、おでん、甘酒が振る舞われます。是非とも一度足を運んで見てください。

3、4月は組合の勉強会、卒業試験が行われ4月に卒業式が行われます。

この様に年間を通じ新年会、針供養、卒業式と、組合三大行事が行われます。これからもこれらの 行事が続けて行われていくように努力していきたいと思います。

ざっとですが1年間のスケジュールを書いてみました。

日本の民族衣装である着物、その仕立ては、 一針一針が熟練した和裁士の手作業によって縫い上げられていきます。着やすい着物作りを目 指して、日々がんばっていきたいと思います。



よこはま技能まつり





















# (一社) 神奈川県造園業協会

- 一般社団法人 神奈川県造園業協会
- ●造園技能士



会長 小 山 俊 一

「神造協」は、昭和48年度から労働省において、技能検定職種に造園が加えられ技能検定制度が施行された際に、造園事業者の技術向上と業界の発展を図るため、昭和49年12月に神奈川県の認可を受け社団法人として発足し、平成25年4月に一般社団法人に移行しました。

当協会は、設立目的であります造園技術の向上と都市環境の整備促進、都市 緑化の推進を図り、「みどり豊かなかながわづくり」に向けて多くの活動を実施 しております。





















### 「全国都市緑化よこはまフェア出展作品」



自然との協調「一滴の水から」



庭園出展コンテスト「金賞」受賞

### 作庭塾「庭守」による伝統技術の継承と習得を目的とした出展作品



県立相模原公園 日本庭園「衆游の庭」



須弥山























## 横浜市写真師会

横浜市写真師会 ●写真師



会長 中野 聖士

### 技連協と共に50年、横浜市写真師会

1968年に横浜市技能職団体連絡協議会が設立され、以来半世紀50年、技能まつりや技能功労者表彰など多岐にわたりお世話になり感謝いたしております。この50年という歳月はわたしたち横浜市写真師会にとって激動の変化の連続でありました。写真発明以来のモノクロ写真からカラー写真の時代へと移り、フイルムなどの感光材料、カメラ、照明機材などの著しい進化には柔軟に対応し、明治以来の写真文化の伝統、技能を承継してきましたが、ここ20年、10年のスパンを見ますと人々の生活様式、趣向の変化に加え、IT、インターネットの進展で写真業界を取り巻く環境は一変し、従来の仕事の図式はあらゆる面で薄れてしまいました。

37年前の昭和56年にソニーが世界で初めてマビカと名づけた電子スチールカメラを発表した時は、フイルム以外で写真が撮れ、それがパソコン上で画像となって自在に加工や色変換が出来ることに驚きと衝撃をうけ、忘れることの出来ないショッキングな出来事でした。その後の技術革新は想像を絶するスピードで、またたく間に世界中がデジタルの波に覆われ、写真業界においても現在は、ほぼ100%デジタル化され、長年慣れ親しんできたフイルムカメラたちは無用の長物と化しました。

そして今なお日々急速な進化革新が続いております。

全てが変わってしまった今、技能職者として今まで培ってきた技術や知識、過去の成功体験等は、 まったく役に立たないものになってきました。しかしながら、いかにそれらが変わっても、その時々 の人たちや家族の「幸せや笑顔」を一枚の写真に記録させ、ご家族の宝ものとして、後世に残せるよ うにする事がプロの写真家としての使命です。

社会的変化、顧客のニーズに積極的に取り組み、日進月歩の時代の流れを受け入れ、日々の研鑽を 怠らず新たな写真館に変わっていく事こそが、江戸時代末期、オランダより伝わった写真術に命がけ で取り組み "道"を創ってきた先人たちのパイオニア精神と写真文化を承継するものと考えます。

顧問 예松島写真館 松島 敏章





















#### <横浜市写真師会の活動>

毎年新春に会員、社 員、家族が集まりファ ミリーパーティーが 行われ、会員家族一 同が親睦を深めてい ます。





毎年2月12日には写真館の元祖、下岡 蓮杖の生誕を祝うとともに氏の業績を 顕彰して、写真館発祥の地、馬車道蓮杖 碑前にて「下岡蓮杖生誕祭」を執り行っ ている。

お客様のお子様をモデルに毎年9月にベビー&キッズ「いいお顔」写真展を開催し、本年で27年目になりました。会場は昨年まではランドマークプラザにて行い、本年は横浜駅東口そごう8F市民プラザにて開催しました。毎回700~1,000人の参加者でにぎわいます。





恒例の技能まつりでは、ここ数年横浜の古い写真で町並みやそこで活動していた人々、かつて市内中を走っていた市電を特集して展示し、ご来場の方々は懐かしさとご自身の記憶を重ね合わせているようで、まさに写真の持つ"力"が発揮され好評でした。



### 横浜市理容連合会

横浜市理容連合会 ●理容師



会長 白 川 敏 雄

### 技連協創立 50 周年を祝して

横浜市技能職団体連絡協議会創立50周年まことにおめでとう御座います。

市内の技能職集団「技師」の団体も創立して早や50年、時の流れを感じます。

当連合会も発足当時より事業参加し、数々の思い出が浮かびます。が、なんといっても当業界から 2人の「マイスター」を認可して頂いたことです。故磯本陽太郎、宇佐美勉の両氏は市内のトップリー ダーとして活躍し、我が業界発展の \*いしずえ"となりました。

堀万吉初代会長から始まった技連協も歴代会長のご尽力で今日まで順調に運営され、これからも ますますご発展・前進を祈念すべく、50周年を寿ぎ心よりお祝い申し上げます。

















































## 横浜建具組合連合会

横浜建具組合連合会 ● 建具職



会長 関 清隆

### 結成50周年おめでとうございます

50年前といえば高度成長期の真っ只中で我々の建設業界は大変忙しく、先代 が朝早くより夜遅くまで休むことなく働いていたことを子供心に覚えています。 当組合の先輩方からも物凄く忙しく働いたとお聞きしました。

その先輩方も高齢化と後継者不足により廃業退会者が多くなり、会員数が年々減少していますが、中には若い後継者、従業員も頑張っている事業所もたくさんあります。

古くからの伝統技能である建具職人としての誇りを保ち、未来へ繋いで行く 為にも、技術の向上そして後継者の育成に努力精進して参りたいと思います。

技連協のさらなる発展をお祈り致しますと共に、今後とも宜しくお願い致し ます。













































# 横浜市美容組合連絡協議会

横浜市美容組合連絡協議会 ● 美容師



会長 中野利彦

この度、横浜市技能職団体連絡協議会が創立50周年の節目の時を迎えられました事、心からお祝い申し上げます。

横浜市美容組合連絡協議会は、昭和58年6月に行政との連携のもと、各施設の衛生向上と業界の発展、従業員の福祉の充実、業界の親睦を図ることを目的として設立されました。当時、横浜ブロックを統一する動きは幾度となく試みてきましたが実現できず、そこで石塚那美(神奈川)・中村昭一(鶴見) KBK 副理事長の呼びかけで12支部がまとまり当協議会がようやく創設されました。



浜美協 30 周年





















現在は20支部が加盟780余名の会員で、各種講習会や、永年勤続者表彰・親睦旅行等を行ってお ります。

また、横浜市生活衛生協議会に加盟し、自主管理推進事業や横浜市訪問理美容サービス事業に取 り組み、安全で安心して利用できる店作りに向け、「自己衛生管理」が徹底されています。

横浜市技能職団体連絡協議会主催の技能まつりに出展し、地域社会へ協議会の周知に努めてまい りました。

また、当協議会から3名の横浜マイスターが選定されています。

第1期のエディー今村先生、第20期の新田景子先生はヘアー部門で、そして今年度、中田眞智子 先生は着付け部門で選定されました。

不安定な世界経済、そして切実な少子・高齢化社会も訪れて参ります。美容業界では後継者不足 や従業員不足また、他業種からの参入、組合員の減少等これからの経営には不安材料が山積されて います。

このような時こそ時代と共に変化していくお客様の要望に応えられる人材育成や技術を習得し、 多様化した社会に貢献できる業界を地域社会にアピールし、協議会の発展のために会員一丸となっ て活動を行ってまいりたいと思います。

最後になりますが、横浜市技能職団体連絡協議会と会員の益々のご繁栄とご健勝を心よりお祈り 申し上げます。





















## 横浜市建設労働組合連合会

横浜市建設労働組合連合会 ● 建築大工



会長 塚 本 三千雄

横浜市建設労働組合連合会は、「横浜建設一般労働組合」「横浜建築職組合」「横浜石工連合組合」「横浜電工組合」の4団体が加盟する連合体です。建設労働者のさまざまな要求の実現を目指すために社会保障や生活と仕事を守る様々な運動を推進してきました。

後継者育成に向けて「匠の小学校」「ハマの職人展」「技能まつり」にも積極的に取り組んでいます。技能まつりでは横浜建築高等職業訓練校(横浜職訓校)の生徒による木造2階建住宅の建前を披露し、市民の方々に横浜職訓校の存在をアピールしました。横浜職訓校は1953年に「一日でも早く技術と技能を身に付けたい」と願う大工仲間の要望に応え開校されました。現在も多くの若手大工の学び舎として後継者育成に力を入れています。

こうした活動を通して安全・安心の街づくりに貢献する建築技能者団体として横浜市内の市民のみなさんの住宅要求に応えていく活動を進めてまいります。























建前披露





















### (公社) 全日本司厨士協会 関東総合地方本部神奈川県本部

公益社団法人全日本司厨士協会関東総合地方本部神奈川県本部 ●調理師・西洋料理



会長 高 橋 明

日本で唯一、国から内閣府認定、公益社団法人を受けている西洋料理調理師会の団体です。

食品衛生の向上と食生活の健全な発展を図るため、西洋料理について調査研究、 普及啓蒙、資質及び技術の講習会、試食会、展示会、ボランティア活動等を行い、 日本国民の食生活の向上に貢献することを行いたいと思います。

尚来年、神奈川県本部は60周年を迎えます。

将来を担う若手シェフの育成や氷彫刻技術の継承に力を注いでいます。

これからも調理師の技術向上、地域社会への貢献に努めていきたいと思います。

















































## 横浜豆腐商工業協同組合

横浜豆腐商工業協同組合 ● 豆腐製造業



理事長 石 橋 賢 -

横浜市技能職団体連合様の創立50年迎えられたこと心よりお喜び申し上げます。

横浜豆腐商工業協同組合は昭和25年設立ですから今年で69年になります。

神奈川県内の同業組合の中心的存在として頑張っております。

高度経済成長の時代は終わり、大手金融機関の破綻や中小企業や大企業の倒産が相次ぎ、さらに生き残りをかけた企業のリストラが始まり雇用不安を引き起こし、そして消費不況となって現在となっています。食品業界ではいまだそのような感があります。この間、豆腐業界では工場の大規模化が進み大量生産による安価な商品がスーパーに出回り広告商品の常連となっています。そして今その大手企業同士の潰しあいになっています。日本の伝統的食品産業である豆腐業界からその魅力を感じられなくなった多くの職人がこの業界から離れて行きました。

2000年も続いてきた「手作り豆腐」の製造技術を後世に残していく責任が我々現在の業者にあるのだと考えています。

後継者育成、学校給食事業の維持、働き方改革等様々な問題がありますが、どの問題も組合員一人一人が組合の運営者であることを自覚して難問解決に向かって努力していくことが安定経営につながることと確信しております。

今年開催されました「ハマの職人展」において、ハマの豆腐職人の豆腐の試食販売を行いましたが、 試食したどの豆腐も素晴らしく美味しいと評価されました。それぞれに個性的な味の相違があって美味しいということで各職人の励みとなりました。又従来の食べ方にこだわらず新しい食べ方や調理法





















を積極的に紹介することで販売拡大につなげたいと考え「油揚げのピザ」の試食を行ったところ、簡単に作れて美味しいと評判になり好評でした。

他の業種の方から学ぶことも多く、様々な業種からなる技能職団体連合会の役割は大きいと感じています。会の一員として皆様に協力し、またご指導頂けます様宜しくお願い致します。



ハマの職人展





















## 横浜市板金組合連合会

横浜市板金組合連合会 ● 板金技能士



会長 見 留 一 利

横浜市板金組合連合会は、13 支部・100 余名を有する神奈川県最大の建築板金の職能組合です。県 組合組織(神奈川県板金工業組合)の中核を占めています。その歴史は、平成 28 年に創立 100 周年 を迎えました。これは、県組合組織より歴史が有ります。

横浜開港と共にやって来た西欧人と洋風建築、その屋根を作り修繕する職能として横浜では建築板 金の技術が発展してきました。観光名所であるキング/クィーン/ジャックの銅板ドームも、我々の 先人達が関わったものと思われます。

設立の古い会社や店では、「銅工店」という名前が多くあります。私達の仕事が、銅板を加工することから始まった故のことですが、現在では屋根素材としては金属瓦や鋼板屋根が多くなりました。また、施工範囲としては外壁工事やサイディング工事・雨樋工事など、家屋の外側全般の工事に対応しています。

当組合連合会では、このような新素材に対する勉強会や講習会を企画・開催し、常に時代の要請に応える姿勢で臨んでいます。

また、建築板金の仕事を市民の皆様に楽しく知ってもらおうと、「よこはま技能まつり」や「匠の 小学校」のイベントに協力しています。

横浜および神奈川在住の皆様、住宅の屋根・外壁・雨樋の工事や修理の際は、地域と共に歩んで来 た当組合連合会の組合員にお任せください。

























よこはま技能まつり





















## 横浜石工連合組合

横浜石工連合組合 ●石工



組合長 石 川 降 -

このたび、横浜市技能職団体連絡協議会創立50周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

私ども横浜石工連合組合も諸先輩方のご尽力で、戦後の焼け跡の残っていた昭和29年5月1日に設立し、今年で64年を迎えることができました。社会情勢も落ち着かない当初は、組合長宅を事務所としてお借りし、健康保険、珪肺問題、安全衛生、健康管理を中心に運営してまいりました。

昭和35年頃になると横浜市内各地で住宅造成工事が拡がり、建築に付随する仕事が多くなり始め、日本の高度成長と共に私たちの業界も人手不足に悩む時もありました。しかし、この頃より石材加工も手加工から機械加工によるものに移行し始め、作業もだいぶ楽になるようになりました。また、組合も徐々に充実し、明るい話題が出るようになりました。

昭和50年には、石材加工の国家試験が発足し、当組合からも多くの技能士が誕生することとなりました。また、技能職者に対する横浜市表彰制度も始まり、業界に働く人の活力になっていることは言うまでもありません。このことは、貴団体をはじめとする各技能職団体や、関係機関のお力の賜物と深く感謝しております。

平成11年には、石材技術の向上と、世代交代していく中で熟練技能者による若手への指導育成を図るべく、組合内に「技能育成推進委員会」を設け、組合員を対象とした技能講習や、地元小学生に対する石材加工の体験学習を実施するなど、広く技能向上と振興に努めてい





















ます。これらの活動は、技能と経験を要する技能職の育成と確保、社会的評価の向上に繋がっ ております。

当組合は常に旺盛なチャレンジ精神と和の精神をもって、組合員の気持ちを尊重し、全 国的に珍しい労使一体の組合として益々発展に尽力する覚悟でございます。

今後とも関係機関の方々をはじめ、各種団体の皆様のご指導、ご鞭撻を心よりお願い申 し上げます。























### 横浜瓦屋根組合

横浜瓦屋根組合 ● 万.屋根



組合長 堀 切 洋 生

横浜市技能職団体連絡協議会設立50周年おめでとうございます。

50周年を迎えるに当たり、連絡協議会の発展のために、ご苦労、ご努力された諸先輩方や現役員の皆様に感謝致します。

私達、横浜瓦屋根組合は、神奈川県瓦屋根工業連合会に所属し、さらに上部団体の(一社)全日本 瓦工事業連盟に加入しています。

「屋根工事技士」「屋根工事診断技士」や「技能検定」の制度があり、日々若い技術者の指導や工事技術の向上に努めています。

また近年、阪神・淡路大震災や東日本大震災、熊本地震など瓦の被害がマスコミに多く報道される たびに瓦のマイナスのイメージ付けがされて来た中で、瓦の留め付け方法が改良され、ガイドライン 工法として屋根瓦の施工法が確立されました。

このように、確かな技術と豊富な実績をもって地域の皆様に安全と安心をお届けしております。

横浜市技能職団体連絡協議会においては、毎年行われる技能まつりに参加して、小さな鬼瓦やキャラクターの瓦を成型する粘土による型ぬきなどをしてもらいながら、ハマの瓦屋さんをアピールさせて頂いています。

ここでハマの瓦屋さんの仲間を紹介します。ぜひご用命ください。





















### 屋根のご相談は"地元の全瓦連加盟業者"におまかせください!!

#### 全瓦連横浜瓦屋根組合員名簿

No.	事業所名	代表者名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX 番号
1	㈱ 堀 切 瓦 堂	堀切 洋生	236-0046	横浜市金沢区釜利谷西 3-40-18	045-782-1222	045-701-3772
2	(有)安藤屋根工事店	安藤 廣	245-0053	横浜市戸塚区上矢部町 1481	045-811-2643	045-811-2644
3	ウエノルーフ㈱	上野 裕之	233-0013	横浜市港南区丸山台 2-12-17	045-845-5655	045-845-7348
4	<b>偷鈴木建材社</b>	鈴木 康子	240-0011	横浜市保土ケ谷区桜ケ丘 1-5-20	045-335-5505	045-442-1414
5	㈱鈴木屋根材	鈴木 健	241-0802	横浜市旭区上川井町 53	045-442-7738	045-921-6801
6	何ツノダ瓦工事店	角田 貞二	221-0851	横浜市神奈川区三ツ沢中町 2-9	045-321-2222	045-324-5230
7	<b>衛角田瓦店</b>	角田 伯雄	221-0801	横浜市神奈川区神大寺 4-20-39	045-481-5614	045-481-5614
8	鶴岡瓦工事店	鶴岡 稔	241-0015	横浜市旭区小高町 167	045-371-4300	045-371-4300
9	御 フ カ ワ	布川 和夫	236-0016	横浜市金沢区寺前 1-5-30	045-781-2795	045-786-2577
10	野 口 瓦 店	野口 安一	240-0042	横浜市保土ケ谷区上星川 2-12-25	045-381-2628	045-381-2638
11	㈱ 待 田 商 店	本多 正宏	212-0012	川崎市幸区中幸町 2-26	044-201-6991	044-201-6992
12	三 平 瓦 店	三平 信治	240-0005	横浜市保土ケ谷区神戸町 4-1	045-331-2827	045-333-7427
13	㈱横浜建材工業	岡嶋 隆	220-0041	横浜市西区戸部本町 48-4	045-322-5746	045-324-1602

一社一社が技術を生かし伝承して行くことは、とても大切なことです。これからいろいろな困難があると思いますが、全員で 60 周年に向かって今後益々発展していく事を祈念して、お祝いの言葉とさせて頂きます。





















## 横浜市左官業協同組合

横浜市左官業協同組合

●左官技能士



#### 代表理事 内 田 守

横浜市技能職団体連絡協議会創立50周年を迎えられることを心からお祝い申し上げます。

奇しくも、私たち横浜市左官業協同組合も創立して今年で50年です。技連協の一員としてこの縁を嬉しく存じます。

私どもは法人化をして 50 年ですが、組合としての始まりはずっと以前ですので、その沿革をご紹介いたします。

明治20年1月11日、横浜区泥工組合が誕生しました。それまで横浜各地にあった親睦を目的とする同業者の集まりがひとつにまとまり、組合という新しい組織として歩き始めました。明治20年は日本の近代水道の始まると言われる横浜水道が完成した年です。

最初は同業者の親睦団体的存在に過ぎなかったと思われる組合も、年を追うごとにその形態、機能を充実させながら発展してきました。明治30年には名称を横浜左官煉瓦請負業組合に改称し、同35年には組合規則を作り、法人組織を実現させ、支部毎の運営をするようになりました。

その後の関東大震災、太平洋戦争へと不穏な社会情勢が続く中、昭和17年に神奈川県左官工事統制 組合と改組をしましたが、戦後になると戦時中の各統制組合法規の改正により新しい組織への転換が 必要となり、昭和22年2月20日に横浜左官工事請負業組合を発足させ、新たなスタートをきりました。

組合の事務所は固定した建物を持たず、方々を転々としてきました。つまり、歴代組合長の自宅が組合事務所であり、役員改選で新しい組合長が就任すると、前組合長宅から新組合長宅へ移転するということを続けていたのですが、昭和28年に中区若葉町2丁目18番に150平方メートルの土地を購入し、同30年5月28日に横浜工業会館と命名した木造2階建ての建物を建設しました。会館は事務所の他に応接室、会議室、宿直室を備え、組合活動の本拠となりました。昭和35年には青年部が結成され、組合後継者たちが若い力を発揮する場として会館は大いに有効活用されてきました。

この頃から組合員たちの訓練所の建設を要望する声が高まってきました。また組合の規模が拡大するにつれ新事務所設置の必要が出てきたので、神奈川県左官工業協同組合と共同出資で、南区永田町の元三和練炭工場跡地にビルを建設する事業計画が立てられました。























左官マーク

この大事業に合わせ組織改編を進めていた組合は、昭和43年9月 25日に法人化をし、名称を横浜市左官業協同組合と改めます。

昭和44年11月に完成した永田町共同ビルは鉄筋6階建て、延べ3,540 平方メートル、1階は貸し店舗、2階は両組合で事務室、会議室、展示室、 研究室などに使用、3階以上は住居という建物です。この共同ビル建 設は以前の横浜工業会館に倍する組合創設以来の大事業でしたので、 完成時の全組合員の喜びはまたひとしおでした。

その永田町共同ビルも年月とともに老朽化が問題となってきて、私たちは最初の組合事務所の地、若葉町に戻ることを決めました。地上6階地下1階のビルを建設し、平成17年9月13日に落成式を行いました。YSビル(横浜の左官のビル)と命名した新しい組合ビルの施工は、組合専用部と1階エントランス部分を組合員たちが自ら施工を手掛けました。地下1階には作業所を設置し、組合員たちが自由に作業、研究が出来る環境を整えました。技能検定試験1級と2級の課題に用いられる架台と同じものを常設しており、この作業所が私たち横浜市左官業協同組合の今日の活動の拠点となっています。

組合発足当時は親睦が主な活動でしたが、明治の時代は東京壁職組合との間で職人が必要なときは互いに融通し合うなどして業界の健全な発展のために尽力してきました。震災や戦争で資材が不足して入手困難な時には、組合で共同購入し購買部を設け、組合員が左官材料や必需品の購入が円滑に行くよう努めました。昭和の初めの頃、職工組合と親方組合が手間賃や労働条件で対立した時には、双方が歩み寄って円満に解決するための助力をしました。また、昭和44年には労災保険事務組合を設立し、労災保険への加入を促進するとともにその手続きを代行し組合員の福利厚生をはかっています。

組合創立以来一貫しているのは、左官技術の向上と技能の伝承を事業活動の中心に置くことです。 毎年7月に行われている国家試験制度、技能検定試検においては受検者を対象に練習を行い、技能 士を目指す者の指導をしています。県主催の技能コンクールでは毎年青年部より選手を送り出し、 コンクールに向けての練習を始め、組合員一丸となって選手を支援します。また年に約10回程度日 曜日に有志が集まり、日曜技研と銘打って技能の研鑽イベントの準備を行っています。その他、親 交を深める親睦会であっても、そこは技能者の集まりです。自然と情報交換、意見交換の場となり ます。そうして組合員同士、左官職人としていつの時代も切磋琢磨してきました。

左官の始まりは縄文時代の竪穴式住居まで遡ります。土という最も手に入りやすい材料で壁を作り





















ました。その後、左官技術は湿気の多い日本の気候・風土に合わせた土壁と漆喰の組み合わせなど様々な材料を使って発達していきます。明治以降、洋風建築が登場するとラスや煉瓦、そしてコンクリートにモルタルを塗って仕上げるようになります。そして昭和の高度経済成長期には鉄筋コンクリート構造(RC 構造)のビルの建設ラッシュとなり、この頃からタイル張り、基礎工事、コンクリートブロック積み、コンクリート打ち込み時の床均しなど左官の仕事内容は多様化してきました。

しかし、その後、住宅様式の変化や建設工期の短縮化の流れから壁の仕上げには塗装やクロスが増 え、塗り壁や左官工事が急速に減少してきました。職人の数も減り続けていきます。

最近になり、漆喰や珪藻土など天然素材を使用した壁が「健康壁」として見直され、手仕事による 仕上げの多様性や味わいを持つ左官仕上げの良さが再認識されてきています。左官職人は先人たちが 築いた伝統を継承しながら時代のニーズに合った工法を研究開発し、その技能を継承してきました。

最近、イベントでは光る泥団子が大人気です。子供だけでなく、やり始めると夢中になってしまう大人も多くいます。子供っぽいと思われるかもしれませんが、「土を材料に使い磨く」というのは左官の基本です。ですから本職が作ると泥団子は磨けば磨くほどピカピカに光るのです。「泥団子は丸い壁」と言った老左官職人がおりました。泥団子を通して壁の魅力を少しでも伝えられることが出来れば幸いと思っております。現在では壁の魅力、左官の仕事をPRすることも私たちの大事な使命となっています。よこはま技能まつりでは多くの来場者が泥団子の体験教室に参加されますので、この機会をいただけることを大変嬉しく思っております。毎年、よこはま技能まつりを主催される技連協におかれましては深く感謝申し上げる次第です。

職種は違えども技能者集団としての心意気はみな通じるものがあると思います。横浜市技能職団体連絡協議会の一員として、今後も各団体と協力して盛り上げて参りたいと思います。

今後益々のご発展と大いなる飛躍をご祈念申し上げます。



よこはま技能まつり























#### 横浜市屋外広告美術協同組合

横浜市屋外広告美術協同組合

●看板製作士



理事長 三 村 嘉 延

横浜市技能職団体連絡協議会創立50周年おめでとうございます。

私共横浜市屋外広告美術協同組合は前身の横浜市屋外美術協会より組織変更 し、横浜市屋外広告美術協同協同組合として平成12年2月に設立発起致しま した。

組合の設立には㈱勉強堂の中沢俊男氏が初代理事長として就任致しました。 組合設立時は70社として始まりました。

当時は以前から筆による揮毫が主体でしたが現在は皆様ご存知の様にコンピューターによるカッティング文字及びインクジェット出力によるプリント印刷加工仕上げが主力となり現在に至っております。

現在は組合の事業としては神奈川県・横浜市からの委託事業を受注しております。

私共の組合加入者も皆様方と同じように後継者不足と景気の低迷により廃業 したりする組合員が増えております。

これからも懸案としている後継者育成に努力致します。





















#### 全日本建築士会神奈川支部

全日本建築士会神奈川支部 ● 建築十



支部長 藤崎辰徳

横浜市技能職団体連絡協議会50周年おめでとうございます。

今日に至るまでには色々と試練があり、決して穏やかな 50 周年ではありませんでしたが、今では他市に劣らない横浜技連協になりました。

顧みますと 20 代の頃、横浜市の技能者の集まりがあるので出席してもらいたいとの要請を受けたことが、今更懐かしく思えます。

早いものであれから 50 年、過去の出来事を思い出すようになり、その節々に 立派な方々を思い出します。

これからも続く事業のほんの一部に関わったことに誇りを持ちます。

全日本建築士会 神奈川支部も一層技術を磨き、若い人々の現代らしい感性の ある建物を作り出すよう腕に磨きをかけて行きます。

目まぐるしく変わる現代、この先どんな時代になるかわかりませんが、横浜 技連協が当局の支援を頂きながら一層栄え、次の世代に引き継がれることを願い ます。





















#### 神奈川県印章業組合連合会

神奈川県印章業組合連合会 ● 印章彫刻十



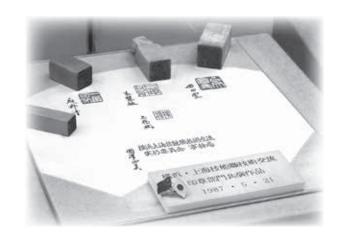
会長 大 橋 和 正

神奈川県印章業組合連合会の主な活動は、毎年7月に行なわれている「かながわしごと・ 技能体験フェスタ」に参加し、子供たちに石のはんこを彫刻体験していただき、はんこを 彫る難しさや作る楽しさ、大切さを自分の手、目、耳で実際の彫刻を体験して貰っていま す。「又、来年もお願いします」と参加者にあたたかい言葉を頂いております。

また10月1日の「印章の日」には不要になった印章、欠けたり、使われていた方がお 亡くなりになって使う事がなくなった印章を横浜の赤門東福寺にて無料で供養しており ます。神奈川県内から毎年500本近くの印章が集まります。

よこはま技能まつりでは、印章は日本の文化でもあり唯一無二の重要な役割を広く市民 の方々に理解いただくために、心を込めて対応させていただいています。

神奈川県には印章業の基礎技術を 養成する日本で唯一の学校「神奈川 県印章高等職業訓練校」がありまし た。本年4月から休校になりました が、今現在は研究会として全国から 技術を習得するために生徒や印章人 が継承し続けています。

























#### 横浜マイスター会

横浜マイスター会<br/>
●横浜マイスター



会長 関 野 美三夫

#### 設立 50 周年おめでとうございます

横浜市技能職団体連絡協議会設立50周年おめでとうございます。

平成8年度横浜マイスター会は横浜市から市民の生活・文化に寄与する優れた技能職者に授与される「横浜マイスター」の称号をもつ技能職者により設立された団体です。

会が発足して20年以上がたちました。私たち横浜マイスター会会員は人づくりモノづくりの原点と言われている会津の魂「ならぬことはならぬものです」という、教えを大切に今日に至っています。 これからもこの精神を大切に横浜マイスターの名に恥じない活動を続けていきたいと思います。























#### 横浜市料理飲食喫茶技能組合

横浜市料理飲食喫茶技能組合

●料理飲食喫茶業



組合長 倉 浪 透

#### 横浜市技能職団体連絡協議会 50 周年記念コメント

衣・食・住は神代の時代より現在に至るまで必要不可欠であります。

戦後、飲食の多様化が進み日々新しい食材に調理の研究を怠らず、加入者全員が消費者のニーズに合わせるため、年に3回以上講習会を開き、専門家を招き食品衛生法に照らし、安全・安心を心がけ消費者に横浜の味覚を堪能できるよう、日夜、頑張っております。

ただ後継者の問題の解決策を模索し未来に向かって、横浜市料理飲食喫茶技能組合発展に寄与したいとおもっております。





















#### 神奈川県中日調理師会

神奈川県中日調理師会

●調理師・中国料理

事務局 〒 231-0023

横浜市中区山下町 140 TEL·FAX 045-651-0300

会 長 揚 井 忠 明

#### 横浜市技能職団体連絡協議会青年部

横浜市技能職団体連絡協議会青年部

●青年技能職者



部長 雪 野 泰 弘

























# 横浜市技能功労者表彰

られた制度です。(順不同・敬称略) 指導的な立場にある方を称えるために設け た技能と、他の技能職者への模範となり、 を対象に、個人の持つ極めて優れ

### 

2008

石 工 縄 嶋 治 召 石 工 池 三起生  $\mathbb{H}$ 钔 彫 刻 章 松 本 伸 夫 型 枠 大 工 熊 谷 信 雄 製 看 板 作 峻 石 Ш 看 製 作 木 夫 板 下 正 クリーニング業 秦 勝 美 建 築 士 望 月 誠 建 築 大 工. 寺 沢 幸 隆 鉄 工 志 孝 夫  $\mathbb{H}$ 建 築 大 工. 矢 吹 政 男 濹 築 大 小 靖 夫 建 工 築 大 建 工 深 津 文 夫 畳 景 工 窪 田 板 金 野 村 禎 三夫 建 築 大 工 相 Ш 土 木 職 柳 下 忠 司 建 築 大 工 佐々木 忠 男 建 築 大 工 部 栄 渡 板 金 長谷川 雄 治 左 官 甲 斐 隼 人 左 伸 官  $\mathbb{H}$ 尚 弘 左 官 村 勝 彦 Ш 左 官 本 間 雄 写 真 師 原  $\mathbb{H}$ 稔 スクリーン印刷 福 本 幸 子 造 袁 世 古 修 造 造 京 田 中 力 造 京 荒 井 敏 朗 造 袁 秀 男 加 山 染 物 村 洗 張 田 猛 染 物 洗 張 森 本 秀 明 畳 工 中 隆 吉 田 畳 藤 工 原 敏 弘 畳 宮 雄 工 兀 良 調 理 松 Ш 兼 重 調 理 青 木 夫 和 調 理

調 理 大 竹 將 吾 調 理 Ш 﨑 昭 調 理 荻 憲 豆腐製造業 石 橋 賢 腐製造業 荒 井 幸 作 豆 眼 鏡 調 整 紀 外 Щ \_\_\_ 眼 鏡 調 整 遠 藤 貢 鳶 職 岩 澤 進 鳶 職 伊 藤 夫 鳶 澤 博 彦 職  $\mathbf{H}$ 鳶 職 吉 原 男 正 配 管 子 繁 夫 金 配 管  $\prod$ 敏 光 石 田 配 管 勝 角 正 板 矢 金 嶋 秀 夫 幸 板 金 髙 畑 治 板 金 津久井 晴 義 表 具 師 不破野 武 表 具 平 師 石 修 美 容 中 師  $\mathbb{H}$ 萬里子 美 容 師 堀 内 テイ子 美 容 師 石 橋 由 美 美 容 上 لح Z 師 # 婦人服裁縫師 本 柳 久 子 洋 裁 師 藤 加 正 子 洋服裁縫師 勝  $\prod$ 本 洋 野 浴槽設備施工 雪 勲 理 容 師 功 夫 前  $\mathbb{H}$ 理 容 師 藤 好 弘 加 理 容 師 渡 邉 進 理 容 村 守 師 志 理 容 師 上 原 暢 仁 理 容 師 蒕 靜 夫 田 ワイシャツ加工 足 1/ 豊 小川名 子 和 裁 慶 師 裁 和 師 森  $\mathbb{H}$ 輝 子 恭 和 裁 師 子 Ш 

竹

昭

好

#### 平成21年度

2009

Ш 繁 工 眞 石 石 工 花 塚 吾 朗 印 章 彫 刻 大 熊 信 良 型 枠 大 工 畑 Ш 兼 夫 製 看 板 作 野  $\Box$ 幸 雄 雄 板 製 作 種  $\mathbb{H}$ 恒 看 着 付 士:  $\prod$ 照 子 北 建 築 大 工 鈴 木 廣 築 大 工. 建 瀧  $\prod$ 恒 夫 大 建 築 工 樫 村 茂 塗 装 喜 中 將  $\mathbb{H}$ 防 水 工 事 宏 躬 伊 東 建 築 大 伊 藤  $\equiv$ 郎 工 造 京 渡 邊 宏 電 気 工 事 方 男 節 塗 装 元 善 司 穐 建 築 大 古 屋 澄 工 機械器具設置 天 野 茂 吉 左 官 根 本 榮 治 気 電 工 事 佐 竹 仁 泉 左 官 小 博 左 米 倉 昇 官 左 官 新 保 政 夫 治 左 官 山 田 正 写 真 井 千枝子 師 石 スクリーン印刷 巻 辻 紀 子 造 橋 更 亰 髙 \_\_. 造 亰 石 山 昭 夫 造 京 内  $\coprod$ 和 夫 造 京 中 Ш 勝 染 物 洗 張 井 石 惠美子 染 物 洗 張 小 林 秀 雄 畳 工 金 井 畳 工 久保田 裕 畳 英太郎 工 粟 竹

調

理

勝

又

隆

光

理 調 猿 渡 道太郎 調 理 橋 忠 高 夫 調 理 青 木 滋 調 理 滝 本 行 雄 正  $\equiv$ 気 工 事 西 田 電 豆腐製造業 洋 石  $\prod$ 計 修 理 大 塚 順 造 時 塗 装 生 形 治 鳶 職 金 子 郎 鳶 職 粟飯原 雄 達 鳶 職 福 三千春  $\mathbb{H}$ 鳶 職 櫻 井 征 之 配 管 吉 村 明 鍼・灸・マッサージ師 辻 井 智江子 鍼・灸・マッサージ師 永 江. 壽 子 板 鶴 孝 金 岡 表 具 師 岩 幸 崹 政 美 容 師 村 洲 子  $\mathbb{H}$ 美 容 師 垂 石 蓮 枝 美 容 師  $\equiv$ 浦 みよ子 美 容 野 師 月 正 代 婦人服裁縫師 喜久子 長谷川 婦人服裁縫師 和  $\mathbb{H}$ 正 子 浴槽設備施工 良 神 保 行 忠 理 容 師 神 保 彦 理 容 師 =橋 康 利 理 容 師 中 込 治 勇 理 容 師 和  $\mathbb{H}$ 俊 明 理 容 師 黒 敏 幸 石 理 容 師 鈴 木 繁 理 容 師 長 妻 市 稼 ワイシャツ加工 髙 島 成 朗 裁 和 師 木 村 鈴 代 裁 和 師 磯 とく江 崎 和 裁 師 榮 鈴 木 治

### 平成22年度 (2010)

浦 男 石 工  $\prod$ 高 工 大 忠 石 薮 清 印 彫 章 刻 書 信 山 花 装 仁 卉 飾 小 林 正 型 大 枠 工 森 二三男 看 製 作 齋 充 板 藤 看 製 作 鈴 木 板 明 着 付 士 岩 立. かほる クリーニング業 大  $\prod$ 登 望 建 築 大 月 工 人 築 大 今 井 興 建 工 孝 築 大 建 工 村 和 夫 元 建 築 大 出 戸 降 道 工 建 築 大 工 菊 地 正 内装仕上工 森 英 史 建 築 大 工 羽 嘉 昭  $\mathbb{H}$ 浴槽設備施工 菅 原 實 築 原 勘 治 建 大 梅 工 建 築 大 又 公 平 工 勝 配 管 西 出 正 人 浴槽設備施工 雪 松  $\mathbb{E}$ 正 ガス設備工事 小 形 利 明 建 築 大 工 五十嵐 忠 治 左 官 西 京 鐵 雄 左 官 神宮司 輝 實 左 官 堀 江 義 和 左 官 保 下 重 吉 写 真 亨 細 水 師 造 京 岩 間 夫 造 相 濹 松 袁 範 造 京 小 林 哲 夫 造 袁 小 林 和 男 染 物 洗 安 張 濵  $\coprod$ 守 染 物 洗 張 青 光 木

畳 工 村  $\mathbb{H}$ Ŧī. 三 畳 澤 工 邦 相 男 畳 宍 岳 工 倉 具 建 職 伊 藤 敏 浩 調 理 伊 原 博 正 調 理 士 福 誠 調 理 澤 藤 マサ江 塗 装 菅 野 克 義 溝 磐 鳶 職 横 鳶 職 内  $\mathbb{H}$ 道 雄 鳶 子 等 職 金 正 鳶 職 防 後 良 男 子 守 夫 配 管 金 鍼・灸・マッサージ師 小 澤 繁 之 鍼・灸・マッサージ師 谷 修  $\Box$ 板 海 藤 定 吉 金 板 内 昭 金 山 次 板 男 鈴 木 康 金 表 具  $\mathbb{H}$ 英 夫 師 飛 村 仁 美 表 具 木 師 美 容 渡 道 規 師 石 容 野 美 師 荻 悦 子 婦人服裁縫師 澤 ア サ 秋 婦人服裁縫師 飯  $\mathbb{H}$ 則 子 理 容 師 鵜 嶋 政 幸 理 容 英 隆 師 原 理 容 湯  $\prod$ 修 章 師 理 容 師 池  $\mathbb{H}$ 由 蔵 理 容 師 木 村 幸 夫 理 容 堀 謙 蔵 師 小 容 理 師 尾 形 康 夫 和 裁 師 門 脇 惠 子 調 理 清 水 郁 夫

#### 平成23年度

2011

石			工	池	田	宗	古
石			工	髙	橋	正	行
型	枠	大	工	若	松	明	雄
看	板	製	作	田	所	幸	雄
看	板	製	作	桐	Щ	健	_
着	作	<del>†</del>	士	浅	井	喜身	<b>美子</b>
建	至	色	士	斉	藤		郎
建	築	大	工	Щ	П	丒	正
建	築	大	工	海老	<b></b> 经缘	日日	出男
建	築	大	工	笹	本		守
建	築	大	工	<u>k</u>	原	治	雄
建	築	大	工	平	沢	幸	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$
建	築	大	工	横	溝	逸	雄
建	築	大	工	平	野	隆	三
建	築	大	工	児	玉	勝	衛
建	築	大	工	富	塚	犬	司
建	築	大	工	中	村	隆	美
塗			装	佐	野		強
建	築	大	工	成	田	敬	志
左			官	熊	澤	俊	明
左			官	石	JII	金-	一郎
左			官	佐	野		美
左			官	野人	材	幸	夫
写	Ē	Į	師	松	島	敏	章
スク	フリー	-ン目	7刷	堀	内	裕	司
造			遠	福	田	登喜	茎三
造			遠	北	村		豁
造			遠	杉	本		薫
造			京	髙	橋	正	義
畳			工	小	林		優
畳			工	森	田		徹

濵 畳 工 野 利 郎 Щ 調 理 本 菊 夫 男 調 理 植 松 幸 塗 装 荒 夫 Ш 富 塗 装 島 夫 田 岩 鳶 職 明 崎 鳶 職 熊 王 正 鳶 職 長 﨑 亮 細 文 鳶 職 谷 男 配 管 岸 理 鍼・灸・マッサージ師 嶽 肩 ヤス子 鍼・灸・マッサージ師 佐 藤 照 男 板 髙 金 野 或 俊 板 金 林 好 重 板 金 足 沢 春 雄 表 具 師 椿 清 表 具 師 櫻 井 孝 晃 美 容 師 土 妙 田 笠 美 容 師 井 蓉 子 美 容 建 幸 師 矢  $\equiv$ 婦人服裁縫師 永  $\mathbb{H}$ 好 乃 理 上 道 容 師 石 雄 理 容 師 鈴 木 義 理 容 師 中 Ш 正 孝 理 容 三 宅 師 伸 明 理 容 師 高 橋 京 子 理 容 師 吉 Ш 晃 理 容 師 津 廣 美 梅 和 裁 河 晴 隆 師 村 和 裁 師 石 橋 雅 子 陶磁器制作 野 中 訓 市

## 平成24年度(2012)

石			工	,	鳥	居	秀	行	畳		工	/	//	林	敬	幸
石			工	,	竹	渕	勝	行	畳		工	Ħ	斩	田	繁	実
印	章	彫	刻	Ī	松	井	清	志	畳		工	Í	汳	島	弘	行
看	板	製	作	7	柳	堀	正	治	調		理	ī	芸	澤	憲	$\stackrel{-}{\longrightarrow}$
看	板	製	作	,	燈	村	秀	夫	塗		装	1	左ク	八間	高	志
建	至	色	士	ı	中	Ш	丈	夫	塗		装	J	莝	間	君	仁
建	築	大	工	Ē	千	葉	義	夫	鳶		職	3	泠	木	幸	男
左			官	ž	青	島	匡	宏	鳶		職	ţ	反	本	惠	
建	築	大	工	,	佐	藤	清		鳶		職	7	寸	井	幸	雄
屋	根	工	事	,	八	木		博	鳶		職	ţ	曽	田		満
型	枠	大	工	7	橋	本	常	吉	配		管	ŗ	†	丸	照	夫
電	戾	工	事	<u>;</u>	黒	田	芳	視	鍼•忿	マッサー	-ジ師	Í	汳	沼	郁	夫
鉄			工	Š	瀬	戸	敏	夫	鍼・忿	マッサー	-ジ師	ž	度	邉	利	治
建	築	大	工	Ź	稲	毛	光		板		金	Ī	古	Ш		徹
建	築	大	工	Ţ	東	Щ		健	板		金	<u>1</u>	븝	瀨	欽四	凹郎
塗			装	;	堀		孝ぱ	と助	板		金	1	天	野	真位	生男
配			管	4	<b>今</b>	野	壽		板		金	1	左	野	公	
建	築	大	工	Ī	高	橋	文	明	表	具	師	1	//	沢	義	男
冷凍	空調	機器	施工	<u>!</u>	岩	本		繁	表	具	師	ž	吉月	水	正	友
左			官	7	齋	藤		純	美	容	師	Ī	赤	岩	禮	子
左			官	-	赤羽	习根	正	次	美	容	師	-	宇	野	よし	ノ子
左			官	7	後	藤		稔	美	容	師	E	H	中	容	子
左			官	ļ	富	永	光	義	美	容	師	Ē	泰	原	敦	子
写	夏	真	師	-	平	井	貞	幸	理	容	師	1/4	台	田	光	正
繊	維	加	工	-	五十	一嵐		茂	理	容	師	1	左	藤	和	廣
造			嵐	Ī	前	田	湯	孝	理	容	師	-	大岩	計根	俊	章
造			遠	Š	池	田		馨	理	容	師	Ī	赤	岩	敏	茂
造			遠	,	小	][[	芳	夫	理	容	師	/	//	野		護
造			遠	ž	細	野		仁	理	容	師	Ž	斩	Щ	秀	敏
染	物	洗	張	١	内	野	健	_	理	容	師	Ī	青	木	省	可

#### 平成25年度

2013

石			工	石	Ш	秋	男
石			工	庄	司	栄》	欠郎
看	板	製	作	Щ	田	明比	七己
建	築	大	工	生	井	和	朗
建	築	大	工	齊	藤	晴	雄
建	築	大	工	中	Щ	好	_
建	築	大	工	苅	部	慎	_
建	築	大	工	生	出	直	作
建	至	色	$\pm$	壁	谷	利	之
建	築	大	工	西	島	正	義
建	Ę	Ę	職	永	島	俊	_
土	7	K	職	岩	谷	喜作	代晴
建	築	大	工	唐	沢	義	雄
建	E	Į	職	小	林	石	根
内	装化	tĿ	工	倉	又	健	治
左			官	保	田	信	_
左			官	松	平	光	男
左			官	大	槻	忠	男
写	Ī	į	師	河	合	向	
スク	フリー	-ン目	7刷	青	Щ	信	行
繊	維	加	工	大	井	康	臣
造			園	金	子	定	雄
造			嵐	小	Ш		進
造			嵐	高	橋	恭	_
造			東	瀧	Ш	隆	雄
畳			工	安	藤		豊
畳			工	松	Щ		巖
Ħ			-	ī. <i>z</i>	Ι.	-1-	ш.

畳

工

杉本孝男

 $\equiv$ 浦 調 理 憲 康 調 理 許 耀 庚 調 理 雄 髙 橋 昭 豆腐製造業 坂 大 幸 夫 眼 調 整 野 澤 生 鏡 眼 調 整 淺 野 勉 鳶 職 小 島 正 男 鳶 職 冨 正  $\prod$ 鳶 職 齋 藤 義 忠 配 管 宮 誠 本 鍼・灸・マッサージ師 細 谷 勝 美 鍼・灸・マッサージ師 宮 﨑 光 男 板 歌 喜久雄 Ш 板 金 星 野 美智男 板 金 三 村 清 表 具 師 鈴 木 富 男 表 具 師 之 石  $\prod$ 達 美 容 師 洋 遠 藤 子 美 容 師 坂 キサ子  $\coprod$ 婦人服裁縫師 島 初  $\coprod$ 代 洋服裁縫師 治 持 丸 彦 理 容 師 安 井 榮 理 容 師 大 島 忠 幸 理 容 師 宮 崎 保 理 容 師 杉 敏 本 彦 理 容 師 木 俊 村 郎 理 容 師 片 野 勝 彦

#### 平成26年度 2014

石 工 小  $\prod$ 晃 石 工 米 陀 光 男 印章彫刻 堀 江 幹 雄 クリーニング業 廣 部 光 正 建 築大 佐 藤 三千雄 工 建 築 落 合 博 士 建 築大 工 富 健 田 司 建 築 大 工 宮 正 廣 建 築 大 地 安 工 菊 好 荒 外 構 工 事 木 俊 治 建 築 硝 寺 子 田 良 治 配 管 齋 光 藤 造 京 安 藤 和 史 炉 築 工 潟 也 Ш \_\_ 土 木 職 西 茂 未 建 築大 工 Ш 光 典 崹 配 管 Ш 中 慶 建 築 大 工 大 島 行 好 左 岩 官 瀨 輝 政 左 官 後 藤 善 庸 写 真 師 伸 河 合 スクリーン印刷 橋 本 己 幸 造 京 関 水 金 作 造 袁 山 田 眞 造 袁 胡 精 大 作 造 京 井 上 民 夫

畳 工 杉 山 治 夫 畳 井 祥 工 永 雄 畳 工 内  $\mathbb{H}$ 進 調 理 巻 八 和 弘 鳶 職 村 隆  $\mathbb{H}$ 秀 牧 之 鳶 職 由 鳶 職 池 忠 夫 田 鳶 職 大 谷 博 貴 配 管 丸 山 晴 雄 鍼・灸・マッサージ師 雅 士 大 西 鍼・灸・マッサージ師  $\prod$ 京 子 板 村 金 中 欽 表 具 師 吉 造 坂 井 表 具 師 鳴 海 洋 \_\_\_ 美 容 師 家 藤 ヒロ子 婦人服裁縫師  $\mathbb{H}$ 厚 秋 子 理 容 師 船 津 博 司 理 容 師 之 眞 下 孝 理 容 師 服 部 樹 歳 容 理 師 平 澤 義 美 理 容 数 師 嘉 守 理 容 師 中 田 正 好 理 容 師 黒 田 繁 男

#### 平成27年度 2015

花 塚 孝 石 工 工  $\equiv$ 石 渡 邉 眞 枠 大 型 馬 工 相 清 建 築 坂 本 盛 夫 士 建 具 職 佐々木 壽 造 京 齊 藤 憲 治 エクステリアエ 藤 加 清 治 建 築大工 鈴 木 庄 建 築 大 工 中 村 昇 建 築大 大河内 夫 工 道 造 芝 隆 義 亰 Щ 建 築大工 牛 坂 直 次 江 左 官 藤 学 大 濹 建 築 工 黒 恒 雄 型 大 工 小 向 松 雄 建 築大工  $\equiv$ 好 哲 夫 配 管 花 塚 榮 近 藤 忠 信 左 官 左 官 Щ 春 人 写 真 光 師 髙 野 弘 スクリーン印刷 本 耕 寿 橋 造 京 沢 男 宮 造 金 子 宏 京 正 造 佐 藤 京 三代治

造

畳 福 工  $\mathbb{H}$ 泰 弘 畳 若 工 松 義 明 畳 工 新  $\prod$ 善 昭 調 理 佐 藤 春 夫 鳶 職 本 間 丈 人 鳶 職 武 Ш 正 弘 鳶 職 直 幸 角 田 職 鳶 柳 真 興 下 配 管 緑  $\prod$ 正 鍼・灸・マッサージ師 太  $\mathbb{H}$ 耕 作 鍼・灸・マッサージ師 中 博 理 容 師 中 野 鉄 亚 理 容 師 小 林 清 吉 理 容 師 須 藤 正 博 理 容 師 佐々木 丈 夫 理 容 師 竹 内 渉 理 容 師 花 竹 井 男 理 容 師 矢 吹 久 子 和 裁 師 木 下 多貴男 裁 和 師 及 川伊東志

間

好 幸

/\

京

# 平成28年度 2016

石			工	福	澤		清
石			工	澤	田	憲	孝
看	板	製	作	三	神	敏	夫
看	板	製	作	八	巻	哲	史
建	築	大	工	加賀	到山	徳	
建	築	大	工	平	野	勇	七
電	気	工	事	][[	村	政	広
板			金	金	子	正	義
建	築	大	工	丸	Щ	吉	男
建	築	大	工	坂	本	次	男
電	戾	エ	事	藤	井		進
建	築	大	工	石	]][	春	清
内	尘	专	工	秋	Щ	博	人
建	築	大	工	团	部	権人	と助
屋	根る	ふ き	工	清	水		_
防	水	エ	事	飛	Щ		茂
建	築	大	工	Щ	本	忠	史
左			官	伊	藤	安	男
左			官	白	木	正	行
写	享	į	師	成	宮	真理	里子
スク	ウリー	-ン日	[]刷	富	田	忠	正
造			袁	岸		純	_
造			袁	倉	本	澄	夫
造			園	森		照	征
造			袁	小	澤		薫
畳			工	蔟	类	敏	久

畳 内 武 工 長 治 畳 工 小 林 俊 夫 調 理 林 小 成 豆腐製造業 井 杉 研 豆腐製造業  $\equiv$ 村 誠 子 鳶 職 金 信 鳶 職 若 林 邦 男 鳶 職 加藤 新次郎 鳶 職 伊 藤 吉比呂 鍼・灸・マッサージ師 肩 睦 嶽 子 藤 鍼・灸・マッサージ師 佐 宏 子 板 伊藤 吉 金 祐 板 金 佐久間 敏 昭 板 金 岩崎 繁 雄 板 金 青 木 龍 雄 美 容 師 渡 邊 精 洋服裁縫師 賀 有 和 彦 理 容 師 山田 幸 理 容 師 藤 井 フ サ 理 容 師 江 黒 光 男 理 容 師 内 木 元 三 理 容 佐 藤 師 均 理 容 師 歌 ]][ 常 敬 理 容 師 向 新 男 理 容 洞澤 師 英 男

#### 平成29年度

2017

石			エ	安	西	俊	明
石			エ	鍛	代	憲	克
型	枠	大	工	小	][[		香
看	板	製	作	小	泉	敏	和
看	板	製	作	金	子	光	男
建	築	大	工	沓	澤	武	夫
建	築	大	エ	松	原	外	雄
建	築	大	エ	Щ	﨑		美
建	築	大	エ	秋	本	富	男
畳			エ	伊	藤		學
型	枠	大	エ	須	田	利	正
建	築	大	エ	奥	村	正	男
建	築	大	工	遠	藤		巖
鳶			職	野	本	敏	明
型	枠	大	工	小里	予寺	俊	幸
鉄	育	<b></b>	工	坂	本	富	男
建	築	大	工	梁	田	宏	美
エク	クスラ	テリフ	了工	遠	藤	栄	市
塗			装	坂	下	清	文
左			官	小	林	久	晃
左			官	柳木	亢田	定	男
左			官	谷	岡	克	彦
左			官	徳	岡	昌	祥
<i>,</i>	_	-	4	[ #\		<b>→</b> \¢	

谷 造 袁 野 繁 造 袁 杉 本 正 夫 造 袁 原 満 田 久 造 袁 坂 井 博 畳 工 神 崎 征 美 義 畳 工 島 村 彦 朝 調 理 妻 正 調 理 Ш 下 善 秀 鳶 職 鈴 木 睦 夫 鍼・灸・マッサージ師 部 裕 畄 志 政 鍼・灸・マッサージ師 横 塚 久 板 金 長 島 慎 宮 板 金 原 栄治郎 安 美 容 師 里 好 美 美 容 白 師 水 秀 毅 理 容 師 Щ 﨑 勝 美 槗 理 容 師 髙 寿美男 理 Щ 容 師 平 守 理 容 師 星 信 行 理 容 師 清 孝 功  $\coprod$ 理 容 師 菊 弘 島 明 理 岩 容 師 﨑 誠

松 村 登志男

写

真

師

#### 平成30年度 2018

竹 石 工 下 寿 石 工 神 取 優 弘 钔 彫 刻 嶋 﨑 健 建 築 大 工 髙 橋 進 建 築 大 工 黒 羽 勝 彦 造 袁 櫻 本 喜久男 造 京 土 井 昇 建 築 大 工 中 村 雅 夫 建 築大 芝 工 原 修 司 配 管 長 吉 濱 明 建 築大工 大 克 宜 石 内 装 大 明 工 Ш 良 塗 装 面 安 男 建 築大 工 川原畑 幸 夫 建築大工 野  $\equiv$ 金 夫 ガス設備工事 寺 田 勇 造 京 髙 理 Ш 左 官 井 伸  $\Box$ 左 官 森 繁 浩 本 左 弐 忠 官 又 スクリーン印刷 小 Ш 賢 造 園 青 木 治

造 京 小 出 TF. 男 造 若 生 京 秀 夫 造 京 小金井 潔 調 理 栗 坪 重 男 鳶 職 福 茂 田 鳶 職 藤  $\mathbb{H}$ 功 柴 鍼・灸・マッサージ師 小 元 鍼・灸・マッサージ師 江 Ħ 井 好 板 脇 晴 金 立. 義 美 容 師 佐 藤 枝 美 容 師 村 田 禎 爾 美 容 師 鹿 島 保 子 理 容 師 信  $\coprod$ 正 夫 理 容 師 髙 野 正 俊 理 容 師 荒 井 孝 理 容 師 波多野 啓 次 理 容 師 長谷川 藤 夫 理 容 師 村 木 茂 男 裁 和 士 仁  $\mathbb{H}$ 所 子 ステンドグラス 平 Щ 健 雄



# 横浜市優秀技能者表彰

れた制度です。 (順不同・敬称略)
者への模範となる方を称えるために設けら
に、個人の持つ優秀な技能と、他の技能職
に、個人の持つ優秀な技能と、他の技能職



2008

鈴 石 木 治 調 理 福 工 重 井 瑞 石 工 臼 穂 調 理 山 相ケ瀬 理 石 工 康 雄 調 印 彫 刻 賀 雄 章 大 雅 調 理 市 型 枠 大 畠 進 調 理 笹 工 Ш 型 大 吉 枠 工 小 勝 博 調 理 向 型 枠 大 工  $\equiv$ 善 康 博 調 理 柴 製 看 作 大 慎 調 理 池 板  $\prod$ 製 看 板 作 髙 橋 浩 調 理 末 クリーニング業 理 久 保 也 調 髙 直 建 築 大 森 本 優 次 気 工 事 工 電 丸 土 職 仁 工 貴 木 貞 方 清 気 事 電 建 築 大 工 安 喜 治 眼 鏡 調 整 草  $\coprod$ 建 築 大 工 佐久間 貴 毅 塗 装 原 建 築 大 長 野 幸 塗 装 工 出 工 防 水 事 安  $\mathbb{H}$ 浩 行 鳶 職 櫻 大 孝 至 鳶 建 築 工 /\ 林 職 小 ブロック建築 荒 鳶 谷 尚 職 田 涂 装 場 峰 樹 鳶 職 前 村 内装仕上工 管 日 野 智 史 配 小 孝 建 具 職 永 島 配 管 森 機械器具設置 飯 塚 配 管 健 岡 泉 配 管 建 築 大 工 今 健 佐 型 枠 大 工 荒 井 俊 喜 板 金 星 塗 装 俊 齋 藤 板 古 金 塗 装 大 塚 夫 板 金 中 ガス設備工事 濵 名 政 表 具 師 後 左 官 塚 本 音 太 美 容 師 書 左 森 美 渋 官 山 俊 容 師 左 望 秀 美 官 月 晴 容 師 /\ 写 理 真 師  $\prod$ 尻 恭 子 容 師 立. スクリーン印刷 理 恩 濵 部 進 容 師 造 萩 雅 章 理 容 若 粛 原 師 造 澤 京 相 正 章 理 容 伊 師 造 京 和 内 理 容 師 芙 也 造 理 容 袁 菊 圳 雄 古 師 畳 理 容 工 山  $\coprod$ 誠 師 相 畳 石 孝 理 容 鈴 工 垣 師 畳 工 稲 浩 理 容 師  $\blacksquare$ 幸 萩  $\mathbb{H}$ 

之 嶋 秀 芳 崹 輝 聡 鮎ヶ瀬 也 路 朗 Ш 原 憲 田 男 田 光 雄 明 宏  $\mathbb{H}$ 岡 義 哉 寺 髙 出 明 島 治 真 之 降 山 彦  $\mathbb{H}$ 辰 部 陽 彦 井 幸 雄 嶋 秀 幸 澤 裕 井 幸 貴 泉 透 馨 田 敏 雄 仁 藤 龍 野 敏 彦  $\prod$ 兼 司 村 修 平 藤 公 規 木 康 司 谷 真美子 泉 智 子 石 修 之 納 克 林 武 司 勝 藤 頭 伸 幸 将 橋 義 澤 千 晃 稔 木

真

#### 平成21年度

00.7/00.7/00.7/00.7/00.7/00.7/00.

2009

之 石 工 原 直 石 工 貴 4  $\prod$ 崹 工 美 武 石 加 藤 之 印 刻 或 峯 伸 章 彫 型 枠 大 工 土 宏 田 司 型 大 本 枠 工 鎌 渡 型 枠 大 工 土 橋 雄 康 製 作 邉 盲 伸 看 板 浦 看 板 製 作 安 茂  $\mathbb{H}$ 建 築 大 工 松 浦 勲 大 建 築 工 日野原 弘 看 板 製 長 崎 利 作 勝 建 具 職 中 村 勝 俊 塗 装 小 林 雄 内 装仕上工 崹 降 山 築大 建 工  $\equiv$ 枝 弥 哲 管 崎 大 治 配 宮 建 築 大 工 正 治 金 城 大 建 築 工 菅 修 司 大 建 築 工 羽 冨 恵 介 工 事 電 気 石  $\prod$ 明 成 建 築 大 工 須 藤 洋 調 工 空 事 宮 本 光 玉 内装仕上工 木 塚 優 樹 ガス設備工事 大和田 広 治 気 工 事 学 電 木 左 野邊田 己 官 正 左 官 宇佐美 圭 左 石 井 宏 官 玉 建 左 根 則 雄 官 写 真 師 原 享 位 スクリーン印刷 苗 書 Ш 早 洋菓子製造 村 弘  $\coprod$ 好 造 渕 武 志 京 間 造 亰 関 水 裕 造 幸 京 佐 藤 樹 造 亰 加 Щ 善 広

畳 工 高 瀬 美 男 畳 高 典 工  $\mathbb{H}$ 村 畳 工 島 福 僚 太 具 正 男 建 職 野 調 理 塩  $\prod$ 義 倫 調 理 新 井 浩 調 理 深 谷 哲 也 理 =宅 成 調 敏 調 理 堺 継 嗣 調 理 浅 典 克 田 岩 電 気 工 事 本 明 久 豆腐製造業 大 港 正 俊 志 時 計 修 理 我 妻 賢 鳶 職 小 林 信 彦 鳶 職 綿 貫 俊 裕 鳶 職 豊 嶋 充 鳶 職 本 榎 純 鳶 職 品 田 雄 一郎 配 管 山野木 茂 配 管 松 崎 幹 配 管 大 里 誉士人 鍼・灸・マッサージ師 大 渕 真 鍼・灸・マッサージ師 内 豊 彦  $\mathbb{H}$ 板 常 喜 彦 金  $\mathbb{H}$ 板 金 歌 晶 夫  $\prod$ 板 金 髙 畑 友 介 具 表 師 石 渡 雄 司 理 容 師 石 立. 太 郎 理 容 師 藤 倉 大 介 理 容 今 井 師 \_\_\_ 徳 理 容 師  $\prod$ 庄 治 府 容 理 師 河 村 修 理 容 師 庄 司 竜太郎 理 容 師 松 太 郎 本 理 容 昔 師 村 和 生 理 容 智 師 佐 藤 幸 理 容 島 浩 則 師 永

#### 平成22年度 2010

鈴 石 工 木 栄 之 野 村 雅 石 工 之 石 工 臼 井 寬 印 史 章 彫 刻 好 昌  $\mathbb{H}$ 型 枠 大 工 佐 友 藤 則 型 大 豐 枠 工 王. 或 型 大 枠 工 宇都木 幸 クリーニング業 小野瀬 順 建 築 大 工 齋 藤 英 樹 大 建 築 工 菊 池 幸 司 吉 建 築 大 原 健 工 築 大 永 浩 建 工 出 直 築 大 大 男 建 工 橋 秀 内装仕上工 小 島 洋 建 築 大 荻久保 工 源 大 建 築 工 馬 場 由紀雄 土 職 浩 木 橋 本 建 築 大 宏 工 安 保 伸 建 築 大 工 出 戸 降 之 工 安 積 孝 郎 瓦 空 調 工 事 新 見 実 外 構 工 事 藤 野 新 吾 塗 装 鈴 哲 男 木 内装仕上工 天 倉 忠 左 官 西 粛 鉄 也 左 官 相  $\coprod$ 直 人 左 官 稲 吉 英 目 左 官 新 保 也 写 真 大 井 慶 子 師 スクリーン印刷 青 宗 嗣 Ш 造 下 袁 山 和 正 造 京 堀 江 伸 吾 造 京 岸 本 進 造 袁 成 泉 和  $\mathbf{H}$ 畳 工 小 島 健 畳 工 福 井 英 浩 矢 畳 博 工 萩

建 具 德 江 職 泰 史 島 調 理 鹿 康 弘 下 調 理 柳 誠 木 調 理 貴 弘 Ш 理 調 林 俊 則 小 調 理 蓑 貴 調 理 篠 崎 弘 通 ひとみ 調 理 原 前 調 理 宮  $\prod$ 明 美 塗 装 伊 藤 武 志 塗 装 藤 保 須 鳶 職 德 江 仁 鳶 溝 職 横 知 由 鳶 職 本 多 孝 行 鳶 郷 志 職 本 健 鳶 崹 尚 職 長 配 管 中 丸 大 輔 鍼・灸・マッサージ師 松 尾 正 美 鍼・灸・マッサージ師 佐. 藤 千可生 宮 孝 板 康 金 板 金 岡 本 昌 明 板 倉 田 孝 志 金 表 具 坪 井 紀 之 師 美 容 井 真 師 山 信 美 容 師 本 淑 子 森 美 容 師 柴 しのぶ  $\mathbb{H}$ 理 容 書 木 絵 師 里 理 容 吉 村 精 師 理 容 坪 賢 師 瀧 理 容 飯 島 道 師 明 理 容 師 部 年 昭 团 理 容 師 和  $\mathbb{H}$ 稔 理 容 師 藤 斉 伸 \_\_\_ 理 容 將 師 本 人 Ш 理 容 師 神 義 \_\_\_ 谷 理 容 師 橋 茂 髙

#### 平成23年度 2011

			<u></u>			<u> </u>							
石	工	鈴	木	貞	蔵		調		理	朝上	上奈	重	之
石	工	花	塚	真	吾		調		理	田 田	邊	光	明
石	工	眞	Щ	茂	之		調		理	楠	野	誉	大
印 重	章 彫 刻	Ш	上	敬	洋		調		理	小目	· 3向	育	雄
建	築士	望	月	英	<u></u>		調		理	柳	場	健_	
建	築士	内	海	成	史		調		理	森	田	知	巳
建多	<b>秦</b> 大 工	長名	川谷	栄			バー	テンク	ダー	鎌	田		純
建等	九 工	髙	久	政	弘		調		理	渡	邉	健	_
建等	九 工	本	田	義	隆		鳶		職	土	谷	充	幸
塗	装	新	保	雄	治		鳶		職	岩	﨑	裕	司
内 装	仕上工	佐	藤	稔	夫		鳶		職	金	子		治
造	袁	満	田	智	之		鳶		職	小	Щ	芳	治
鉄	筋 工	北	原	治	信		鳶		職	吉	住	貴	可
建等	九 大 工	鈴	木	淳	司		配		管	髙	橋	眞	<u> </u>
配	管	滝	澤	光	弘		配		管	村	岡	高	行
ター	イル エ	大	野	与四	当良区		配		管	小	堀		段
型 柞	中 大 工	河区	内山		武		鍼・灸	・マッサー	-ジ師	小	玉	隆	可
ター	イル エ	福	井	_	美		板		金	蒲	谷	正	信
建等	九 工	目	黒	弘	道		板		金	井	上	清	明
電	え 工事	遠	藤	丈	晴		板		金	間	][[	要	平
外标	黄 工 事	森	田	真	功		表	具	師	栗	原	孝力	大郎
左	官	水	田	_	輝		美	容	師	五	一嵐		晃
左	官	森	Щ		聖		美	容	師	土	屋		肇
左	官	牧			寛		理	容	師	白	濱		剛
写	真 師	河	原	知	之		理	容	師	大	嶋		豊
スクリ	リーン印刷	田	中	正			理	容	師	小	泉		恵
造	袁	小卜	山田	照	蔵		理	容	師	金	子	友	之
造	袁	長	岡	孝	信		理	容	師	満	田		涉
造	袁	小	島	貴	洋		理	容	師	古	澤	達	也
造	袁	Щ	田	俊	夫		理	容	師	齋	藤	美	輝
畳	工	秋	Щ	道	久		理	容	師	佐	藤	益	央
畳	工	飯	野		豊		理	容	師	池	野	晃	司
畳	工	金	井	徹	郎		理	容	師	中	村	嘉	明
建	具 職	小	泉	和	也		和	裁	師	鈴	木	秀	周

### 平成24年度 (2012)

<i>T</i>	→	. [	ملمك	Н	1-11-	#	軒		TH	ш	小大	T⊢	$\rightarrow$
石	工	小	林	忠	雄		周田		理	岩	崎	和	己
石	工	幾	田	信	<b>→</b>		周		理	小	Ш	勝	哉
石	工	小	林	正	武		周		理	谷	野	恒	夫
印 章 彫	刻	好	田	将	人	司	周		理	庄	司		智
看 板 製	作	種	田		穰	信	Ē	工 戾	事	笹	木	信	広
建 築	士	佐	藤	昭	弘	查	食		装	大	石	猪-	一郎
内装仕上	: I	河	村	健	_	查	食		装	滝	嶋		広
防 水 工	事	芦	田	泰	三	頂	学		職	横	溝	誠	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$
昇降設備	工事	渡	部	博	寿	頂	学		職	大	久保	英	人
造	袁	野	田	憲	_	戸	等		職	中	Щ	盛	雄
塗	装	中	Ш	力	夫	頂	<b>学</b>		職	武	][[	佳	弘
内装仕上	: I	海	野	和	昭	頂	等		職	鈴	木	松	司
建築大	工	熊	澤		岳	西	2		管	工	藤		雄
建築大	工	小	林	秀	行	酉	2		管	福	原		浩
建築大	工	塚	本	雄	介	村	反		金	小	野井	政	<u> </u>
建築大	工	銅	錢	択	盛	村	反		金	田	邊	宏	行
建築大	工	須	藤	昭	久	村	反		金	多	田		史
塗	装	成	田	信	弘	枋	反		金	森	田	雄	飛
塗	装	松	出	龍	_	র	長	具	師	大	島	靖	孔
左	官	林	田	孝	之	ā	長	具	師	望	月	芳	行
左	官	渡	邉	直	希	j	É	容	師	植	竹		徹
左	官	富	永	貴	博	j	É	容	師	長	田	典	子
左	官	小	倉	修		j	É	容	師	齋	藤	雅	文
写 真	師	遠	藤	菜種	恵子	Ŧ	里	容	師	瀧	坪	紀	雄
造	遠	實	Ш	吉	雄	Ŧ	里	容	師	伊	東	義	樹
造	遠	北	村	光	清	Ŧ	里	容	師	森	久	仁	美
造	遠	大	胡	隆	典	Đ	里	容	師	杉	村	光	彦
造	袁	佐	藤		剛	到	里	容	師	佐	藤	和	身
畳	工	石	渡	洋		Đ	里	容	師	鎌	田	卓	司
畳	工	Щ	田		郎	Đ	里	容	師		多村	浩	司
畳	工	松	Щ	義		Đ	里	容	師	佐	野	和	也
建具	職	田	中		成	Đ	里	容	師		公﨑	淳	史
			•							-	. •		

#### 平成25年度

2013

UT 00 T 00 T 00

石			工	茜	屋	重	徳	
石			工	鈴	木	敬	蔵	
石			工	座	間	順	_	
看	板	製	作	太	田		優	
看	板	製	作	平	尾	省	$\stackrel{-}{\longrightarrow}$	
建	築	大	工	髙	橋	博	隆	
配			管	森	田	光	洋	
建	築	大	工	関		佳	広	
鉄			エ	奥	Щ		忠	
建	築	大	工	東		寿	人	
内	装化	t. 上	工	Щ	元	雅	人	
建	築	大	工	德	橋		誠	
内	装化	t L	工	佐	藤	航	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$	
建	築	大	工	遠	藤	陽	介	
建	築	大	工	大	木	幹	男	
建	築	大	工	矢	野	順	_	
ア	ンカ	b —	工	黑河	可内	伸	幸	
建	築	大	工	佐	藤	孝	也	
建	築	大	工	鈴	木	_	弘	
建	築	大	工	中	村		孝	
空	調	工	事	仲	西		隆	
左			官	川夕	八保		博	
左			官	堀	籠	武	志	
左			官	小	倉	龍	$\stackrel{-}{\longrightarrow}$	
写	真	巨	師	丹	野	有約	己子	
スク	クリー	-ン日	7刷	東		敏	彰	
造			東	岡	本	敏	朗	
造			東	江	原		勲	
造			園	佐	野	秀	樹	
造			粛	小	嶋	貴	宏	
畳			工	相	沢		守	
畳			工	向	井	_	人	
畳			工	早	坂	辰	美	

建 具 職 市 Ш 圭 作 成 調 理 田 悠 希 調 理 山之内 紀 隆 忠 調 理 Щ 本 義 調 益 清 志 理 子 調 理 Щ 中 圭 介 友 電 気 工 事 村 康 豆腐製造業 博 上 村 眼 鏡 調 整 熊 谷 秀 樹 塗 装 裕 司 加 藤 鳶 職 野 澤 利 浩 鳶 職 純 髙 橋 鳶 職 子 金 准 鳶 職 田 原 智 毅 夫 鳶 職 綿 貫 則 配 管 月 Ш 裕 板 金 佐久間 正 和 板 金 鈴 木 進 板 金 新 倉 崇 司 表 吉 之 具 師 畄 表 具 平 誠 師 石 光 美 容 師 赤 岩 浩 美 容 師 石  $\prod$ 薫 美 容 島 師 田 良 理 容 中 込 師 浩 大久保 理 容 師 直 輝 理 容 師 楠 木 正 行 真由美 理 容 久保田 師 理 容 半 秀 師 谷 昭 理 容 松 美 師 田 明 理 容 修 師 椋 木 理 容 瀧 陽 師 坪 理 容 師 柏 﨑 秀 樹

#### 平成26年度 2014

石 工	鈴木	正	浩	畳		工	長名	1112	雄	_
石 工	座間	智	久	畳		工	飯	野	和	重
石 工	髙山	秀	樹	調		理	栗	原	秀	明
印 章 彫 刻	朝比奈	英	和	調		理	田	中		剛
クリーニング業	瀧川		登	調		理	守	屋		寿
配管	小 西	信	夫	調		理	滅局	木	洋	
建 築 士	遠藤	辰	之	調		理	松	元	隆	弘
造 園	伊 藤	竜	男	鳶		職	岩	﨑	勝-	一郎
塗 装	伊 藤	哲	夫	鳶		職	日	塔	朋	広
建築大工	持 丸	芳	次	鳶		職	遠	藤	哲	男
建築大工	島田		誠	板		金	佐	藤	雅	人
建築大工	荒井	茂	夫	板		金	田	村	悠	樹
建築大工	水 元		勇	板		金	平	賀	英	樹
建築大工	後藤	祐	輔	板		金	松	崎	信	治
塗 装	岩井	耕	治	板		金	小	林		浩
瓦 工	永嶋	謙	作	板		金	小点	<b> </b>	健	_
鉄 筋 工	後藤	満	夫	板		金	大	澤	憲	_
左官	鈴木	勝	昌	美	容	師	吉	JII	礼	子
防水工事	山 田	恵	祐	理	容	師	近	藤	利	明
建築大工	篠崎	健	_	理	容	師	田	澤	幸	次
左官	川村	貴	浩	理	容	師	辺	見	幸	治
左官	黒 澤	光	玉	理	容	師	Щ	田	智	
左官	望月	祥	司	理	容	師	鈴	木	康	世
スクリーン印刷	山 本	勝	久	理	容	師	Щ	田	茂	行
造 園	加山	浩		理	容	師	佐	野	孝	道
造 園	中 山	淳	_	理	容	師	小	澤	三洋	津生
造園	森 田		淳	理	容	師	勝	俣	陽	子
造    園	小 林	哲	也	理	容	師	髙	杉	秀	樹
畳 工	加藤	智与	<b></b> 手志							

#### 平成27年度 2015

石	エ	川古	台谷	佳	則	造		園	寺	田		誠
石	エ	玉			義	造		園	大	貫	英	樹
石	エ	鳥	居		悟	造		粛	髙	橋		卓
型枠大	エ	福	井		圭	畳		工	金	子	正	孝
看 板 製	作	野		健-	一郎	畳		工	内	藤	隆	志
看 板 製	作	諏	訪	英	祐	畳		工	寺	廹	正	幸
建築大	エ	桑	原		昭	調		理	伊	藤		肇
土 木	職	北	井		仁	調		理	大	駒		剛
電気工	事	Щ	本	憲	<u> </u>	調		理	八フ	大澤	公	晴
板	金	八	木		誠	調		理	加	藤	賢	_
建築大	エ	簗	場		学	調		理	榊	原	健	_
内装仕上	エ	][[	端	清	文	鳶		職	古	沢		匡
防 水 工	事	大自	自根	清	之	鳶		職	髙	塚	大	作
解 体	エ	坂	本		剛	配		管	鈴	木	俊	_
建築大	工	鈴	木	浩	<del></del>	配		管	蒲	原	利	之
電気工	事	藤	井	剛	並	配		管	小	堀		倫
塗	装	福	澤	元	輝	板		金	髙	橋		良
左	官	上	地	則	智	板		金	中	澤	倫	明
保 温	工	坂	内		仁	板		金	和	栗	衛	_
外 壁 工	事	宮	原	_	世	理	容	師	齋	藤	哲	也
冷凍空調機器放	施工	齋	藤	芳	次	理	容	師	田	中	雅	樹
ガス設備工	.事	西	村	_	樹	理	容	師	加	藤	紀	之
左	官	米	倉	利	幸	理	容	師	柿	澤	光	邦
左	官	根	本	新	<u> </u>	理	容	師	吉	野	健	<u> </u>
左	官	濵	上	文	治	理	容	師	長名	1112		喬
造	園	横	Щ	康	雄	理	容	師	清	水		力

#### 平成28年度 2016

<i>ナ</i> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	)北 <u></u>	17/2 <del>     </del>	造	<b>→</b> ++	3
石 エ	浅葉	隆恭		石井	勇
石工	朝間	健 太	畳 工	萩原	賢 史
石工	金井	岡「	畳    工	髙 橋	陽治
型枠大工	名 倉	雅敏	畳    工	臼 井	克 典
看 板 製 作	石 川	賢 志	調理	臼 杵	博幸
建築大工	小 宮	敏 春	調理	遠藤	義広
塗 装	半 田	喜 範	調理	仁 平	晃 生
建築大工	市川	哲 也	調理	鈴木	泰三
電気工事	斉 藤	登	鳶    職	若 林	裕二
造 作 大 工	濵 﨑	知 晶	鳶 職	大 谷	一人
電 気 工 事	渡 部	孝 輔	配管	青 木	宏 彰
配管	普天間	竜 一	配管	佐々木	英 人
建築大工	田中	健 次	配管	石 井	俊 光
建築大工	佐 藤	健 一	鍼・灸・マッサージ師	岩 橋	すみ代
建築大工	渡邉	良 一	板 金	三浦	信 弘
土 木 職	五十嵐	勇 一	板 金	林	秀樹
建築大工	岩 下	大 助	板 金	浅 利	裕 之
圧 接 工	小笠原	貴 英	表 具 師	山崎	聡 一
板 金	北原	実	美 容 師	太 田	和 哉
配管	鈴木	篤	理 容 師	吉 田	一弘
冷凍空調機器施工	和 田	圭 介	理 容 師	中 城	清二
サッシエ	小 林	裕 司	理 容 師	堀	かおる
左 官	保 田	幸宏	理 容 師	島田	瑞 希
左官	内 海	陽平	理 容 師	千 田	茂 樹
左官	徳 岡	美知生	理 容 師	杉 本	任 司
写 真 師	中野	修平	理 容 師	伊澤	隆
スクリーン印刷	増 岡	徳恭	理 容 師	佐藤	仁彦
造    園	菅 野	幸世	理 容 師	三宅	幸治
造	米 山	拓未	理 容 師	井深	敏 志
造 嵐	田口	英明	和裁士	小堀	茜
_ —	ш П	2 1/4	,	<b>1</b> 7 7 1	ш

#### 平成29年度

2017

博 文 石 工 小 嶋 石 工 井 宏 藤 石 工 鍛 代 友 樹 型 枠 大 工 本 史 明 坂 製 看 板 作 柳 堀 照 茂 製 之 看 板 作 鈴 木 紀 建 築 大 工 望 月 滋 人 建 築 大 工 鈴 木 修 大 建 築 工 沼 田 太 輔 大 島 建 築 工 飯 誠 大 建 築 工 永 長 勝 行 築 大 之 建 工 西 Щ 敦 建 築 大 工 金 聖 柱 鳶 職 中 村 隆 人 大 亮 建 築 工 竹 内 介 築 大 本 将 批 建 工 坂 建 築 大 工 小 嶋 知  $\mathbb{E}$ 板 金 木  $\prod$ 義 樹 塗 装 嶋 哲 也 髙 配 管 正 出 幸 西 内装仕上工 広 沢 清 貴  $\equiv$ 電 気 工 瓶 宣 廣 広 左 藤 幸 官 後 左 官 宮  $\coprod$ 公 貴 左 鈴 木 也 官 左 木 官 大 哲 也 造 亰 中 Щ 鋭 造 澤 利 亰 長 治

造

京

板

津

菊

雄

調 理 裕 加 藤 樹 調 理 中 秋 弘  $\mathbb{H}$ 調 理 山 本 訓 史 調 理 増 繁 雄 田 塗 装 佐 藤 薫 装 塗 回 部 龍 輔 鳶 職 市 Ш 敬 幸 鳶 職 深 野 渡 職 古 昭 鳶 瀬 義 配 管 山 形 毅 雄 鍼・灸・マッサージ師 平 野 あい子 岩 板 金 﨑 雄 太 板 金 Ш 内 昭 頼 板 憲 金 塙 隆 美 容 師 内 春 美 Щ 理 容 師 上 昌 敏 原 理 容 師 田 中 良 次 理 容 師 仁 藤 康 志 理 容 師 針 良 春 小 理 容 師 康 弘 市 村 理 容 師 諏 訪 順 理 容 師 戸井田 賢 次 之 理 恭 容 師 神 保 理 容 師 敬 博 原  $\mathbb{H}$ 和 裁 士 鈴 明 木 美

#### 平成30年度(2018)

石 勝 工 西 村 智 石 工 秋 Ш 石 工 漆 原 伸 亮 建 大 工 板 橋 正 美 建 築 大 工 髙 橋 達 也 鉄 学 工 桑 本 畳 工 賀 加 竜二郎 板 井 上 悟 金 建 築大 工 宮 友 博 塗 装 東 海 大 基 土 木 職 武 信 吾 田 塗 装 髙見澤 重 樹 建 大 工 伊 藤 聡 建築大 芳 工 垣 彰 謙 造 袁 相 原 良 \_\_ 防 水 工事 下 條 直 也 配 管 冨 野 勝 久 装 内 工 橋 貴 司 ガス設備工事 Ш 下 大 輔 左 官 蒔 宏 田 充 左 服 部 官 剛 左 官 高 隆 児 田 左 官 白 木 雄 治

写 真 師 松 村 賢 浩 造 加 Щ 徳 樹 亰 造 京 加 藤 成 行 造 亰 風 間 稔 造 京 鹿 島 健太郎 畳 工 池 谷 智 司 畳 工 佐 藤 保 孝 調 理 塙 信一郎 調 理 藤 田 豊 調 理 守 屋 恵一郎 理 調 髙 橋 義 宜 鍼・灸・マッサージ師 祭 原 英 典 鍼・灸・マッサージ師 橋 本 桃 子 板 金 松 崎 晃 司 理 容 師 相 澤 宏 明 理 容 師 呵 部 洋 充 理 容 師 津 聡 志 船 理 容 師 神 保 明 秀 理 容 仁 師 黒  $\prod$ 理 容 師 日 向 広 幸



# 横浜市技能職者奨励賞

ことが礎になっています。(順不同・敬称略)す。技連協会長を務められた川上三寳氏が若す。技連協会長を務められた川上三寳氏が若が選が期待される方に対して贈られる賞で

平成 19 年より始まった表彰制度で、これまでに 17 人の方が受賞されています。

平成19年度	·····					·····	~~~
	印	章 周	形 刻	國	峯	伸	之
平成21年度	~~~~~						~~~
1772112	印	章 周	影 刻	大	賀	雅	雄
	家		具	松	浦	尚	見
	家		具	秋	Щ		大
平成23年度	·····	······			~~~~~	······	~~~
	理	容	師	星		涼	馬
	バー	テン	ダー	山	田	高	史
<del></del>							
平成24年度	, 0 =	 - ,	シエ	ΔΛ		······	~~~~
	/	1 1	ンエ	鈴	木	崇	志
平成25年度	~~~~~				~~~~~	······	~~~
119920 1192	美	容	師	吉	永	範	明
	家	具	職	清	水	歓	太
亚世26年中							
平成26年度	理	容	師	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	<b>→</b>		·····
	家	白 具	職	石 杉	本	正幸	英治
	家	具	職	伊	藤		奨
_ 15007-							
平成28年度		·············		······	··········	······	
			師料理)	清深		美	乃
	家			佐	•	伸	凌吾
				<u>بـــــ</u>	114	'''	Н
平成29年度	~~~~~	······			~~~~~	······	~~~
	調理	(日本	料理)	榎	本	義	明
ᅲᄼᄼᆓᄨ							
平成30年度	······· 美	容	師		~~~~~	 ታ⁄እ	 IHI
	大	$\triangle$	비디	奥		裕	理



# 横浜市技能職者団体連絡協議会創立 50周年記念式典





技連協創立 50 周年記念式典

#### ≈ 横浜市技能職団体連絡協議会・創立 50 周年記念式典 ≈

【日 時】 平成30年11月20日(火)

式典: 17時30分~、祝宴: 18時30分~

【会場】 ホテル横浜ガーデン3階「ミモザの間」

出席者 105 名 御来賓 13 名



祝辞 渡辺巧教副市長



会長挨拶 堀内裕司会長



乾杯 小泉幸男相談役



式典



講談 一龍齋貞寿



講談 一龍齋貞寿

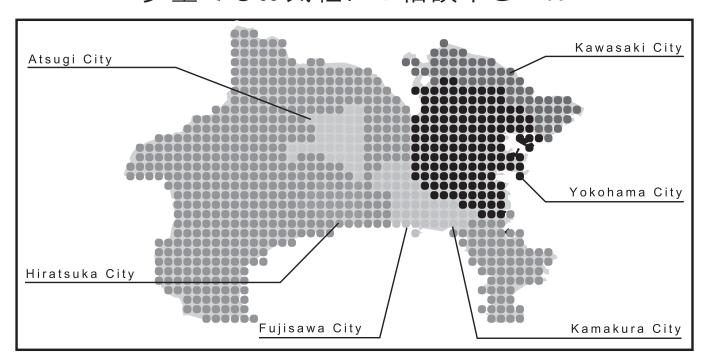


広告



#### 祝 横浜市技能職団体連絡協議会創立50周年

#### 空気と水以外何にでも刷れるスクリーン印刷 少量でもお気軽にご相談下さい!!



株式会社 光版技研

〒233-0003 横浜市港南区港南3-26-22 TEL:045-842-1371 FAX:045-842-4865

http://www.koh-han.com URL

**FEATURE** スクリーン印刷・企画・制作

COMPANY

有限会社 とみおかプロセス

〒236-0053 横浜市金沢区能見台通22-16 TEL:045-784-2637 FAX:045-783-5018

http://www.navida.ne.jp/snavi/3867\_1.thml URL

**FEATURE** スクリーン印刷全般

COMPANY **ADRESS**  株式会社 青山プラスチック塗装

〒213-0006 川崎市高津区下野毛3-11-33 TEL:044-811-5626 FAX:044-822-1368

http://www.aoyama-pt.com/

**FEATURE** UV水性1液または2液のタイプの塗装および印刷(スクリーン、パット加工)

COMPANY

ダイヤ 工芸株式会社

〒213-0025 川崎市高津区蟹ヶ谷119 TEL:044-754-6381 FAX:044-754-6391

http://www.dta.co.jp/

**FEATURE** プラスチック成型品へのホットスタンピング加工、スクリーン及びパッド印刷

COMPANY

株式会社 ナカタマーク

〒254-0031 平塚市天沼1-22

TEL:0463-22-5171 FAX:0463-22-5101

URL http://www.nakata-ad.jp

**FEATURE** スクリーン印刷資材・販売・看板製作

COMPANY

株式会社 オー・エム・イー

〒243-0213 厚木市飯山 3017-6 TEL:046-281-8787 FAX:046-281-8788

http://ome.client.jp

**FEATURE** 各種ネームプレート・タッチパネル・金属加工・塗装・アクリル加工・電気絶縁板・シールド板 **ADRESS** 

有限会社 加納スクリーン

〒233-0001 横浜市港南区上大岡東1-3-23

TEL:045-842-0038 FAX:045-845-4810

**FEATURE** 

スクリーン印刷・プラスチック・金属・木材・その他各種材質、看板・ディスプレイ・標識・各種工芸品製作

COMPANY **ADRESS**  株式会社 ツジマキ

〒232-0061 横浜市南区大岡3-13-12

TEL:045-741-4856(2773) FAX:045-714-6649

http://www.tsujimaki.net

ステッカー・サイン・ディスプレイ・工業部品、曲面印刷、金属等加工・塗装 FEATURE

COMPANY **ADRESS** 

〒245-0051 横浜市戸塚区名瀬303-1

TEL:045-810-3356 FAX:045-810-3256

**FEATURE** 

COMPANY **ADRESS**  株式会社 アクト

〒213-0032 川崎市高津区久地3-15-3

TEL:044-833-1191 FAX:044-822-1368

http://www.act-com.net

FEATURE デザイン・版下から印刷全般、車両マーキング完全施工

COMPANY

有限会社 共栄製版

〒247-0051 鎌倉市岩瀬1-34-26

TEL:0467-47-1050 FAX:0467-47-1051

URI **FEATURE** 捺染型製版業

COMPANY **ADRESS** 

株式会社 ティー・エス・ピー

〒421-1221 静岡県静岡市葵区牧ケ谷2302

TEL:054-278-5309 FAX:054-278-5119

**FEATURE** 

スクリーン印刷



#### 神奈川県スク

URL http://www.Kanagawa-sdpa.com

〒236-0053 横浜市金沢区能見台通22-16【(有)とみおかプロセス内)】 TEL:045-784-2637 FAX:045-783-5018

# 况 技連協50周年記念

#### 一般社団法人

## 横浜市鍼灸マッサージ師会

http://hamahari.com

会 長 荒 井 務 横浜市中区太田町4-48 川島ビル901 TEL 045-222-1255 FAX 045-222-1265

## WEETER WAR OF COME (I)

はり・灸・マッサージはあなたの健康を守ります



安心のマーク

鍼・灸・マッサージの施術は国家免許を取得した者にのみ許されます(「あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師等に関する法律」)。最近、〇〇学校と称した民間施設等が発行する修了証や認定証を掲げた者から、鍼・灸、特にマッサージを受けた後に健康被害を訴える方が急増しています。皆様に安全な施術を受けていただくために、国で定めた教育機関で3年以上修学した後、厚生労働大臣による国家試験に合格した施術者の証である、この「安心のマーク」のある治療院をお選びください。

# 親切·丁寧·安心

クリーニングのご用命は組合加盟店へ



# あなたの街のかりちゃんマーク

## 神奈川県クリーニング生活衛生同業組合

〒231-0003 横浜市中区北仲通2丁目20番地 TEL.045-201-7544 FAX.045-201-6526 https://www.kanagawa929.or.jp/

神奈川県クリーニング生活衛生同業組合横浜ブロック協議会



# 横浜建具組合連合会

港北区(有)田中建具店

市川建具店

(有) 三和木工

都筑区 (有) 小泉建具店

青葉区(有)徳江建具店

(有) 野口建具店

緑区(株)建佐

区

南

(有) 関建具店

旭区(株)中屋木工所

(有)浜口建具店

(有)平野建装

会長 関 清隆

相談役 小泉 幸男



みなさまの住宅の屋根・壁を守る建築板金の組合連合です

## 横浜市板金組合連合会

組合支部 鶴見/港北/神奈川/緑/旭・瀬谷/西/保土ヶ谷/南/港南/戸塚/磯子/金沢

屋根・外壁・雨とい工事や修理に関することなら何でも、 お近くの当組合員にご相談ください。 経験を積んだ的確な技術で、お客様のご要望にお応えします。



その他の工事

[対応工事の種別]

- ダクト工事
- · 保温工事
- 厨房ステンレス工事
- ・その他

#### 【 対応工事の種別 】

- · 一般住宅 屋根工事
- ・工場・公共拖設 屋根工事
- · 神社 · 仏閣 屋根工事
- · 折板 屋根工事
- ・ガリバリウム鋼飯 屋根工事
- ・ステンレス 屋根工事
- ・カラーベスト基金 屋根工事
- ・瓦 屋根工事
- ・屋根 査ぎ替え工事
- ·屋根 修理工事
- ・雨滑り 修理工事
- その他



#### 対応工事の種別 ]

- · 一般住宅 兩種工事
- ・工場・公共施設 雨樋工事
- ・神社・仏閣 雨樋工事
- · 雨極 交換工事
- · 雨極 修理工事
- (各メーカー対応)
- ・その他



#### 【対応工事の種別】

- ·一般住宅 外壁工事
- ・工場・公共施設 外壁工事
- サイディング工事
- ・外壁 貼巻え工事
- 外壁 修理工事
- ・外壁 両続り修理工事
- · 各種 水切工事
- その他

#### ~横浜市板金組合連合会~

#### 組合概要

横浜市板金組合連合会は、横浜の開港とともに入って来た西洋建築に対応して生まれた、日本で最も歴史のある 建築板金の職能組合です。

組合員はみな、建築板金発祥の地、横浜・神奈川で仕事をする誇りを持っています。

http://hamaban.net/

# 横浜市屋外広告 美術協同組合

で存知ですか、横浜市屋外広告美術協同組合とはこんなにも色々な業種を器用にこなす匠の集団です

#### 営業・取り扱い品一覧

看板・アクリル電飾看板・銘板金属看板・機械彫刻・カッティング文字・シルク印刷 POP広告・のぼり旗・広告幕・デザインテント・イベント用道具・広告塔・大型看板 展示会、見本市会場設営・店舗設計・内装工事・電車、バスの交通広告・チラシ 折込広告・新聞広告・電柱広告・インクジェット出力

#### 理事長 三村 嘉延

〒231-0037 横浜市中区富士見町1-3

TEL&FAX: 045 (261) 8202



杳

## 横浜畳組合連合会

#### 《組合役員名》

#### 《組合委員名》

相談役	高橋 弘	神奈川	島村義彦
会 長	芦原 将	新横浜	早川要一
副会長·総務部長	稲目幸浩		久保知由
副会長·財務部長	相澤邦男	西·本牧	臼井孝典
副財務部長	早坂辰美	保土ヶ谷・旭	長谷川昇
厚生部長	小林敬幸	中	吉川誠一
事業部長	金井 一	磯子·金沢	黒川昇
技術部長	藤巻敏久	戸塚·泉·栄	相原吉正
監査	飯島弘行		

(事務局) 担当 芦原 将 〒231-0056 横浜市中区若葉町2-35 TEL·FAX(045)251-5887

渡辺由幸

## 祝 技連協 50周年

和服総合加工染替え・洗張りシミ抜き・丸洗い

お近くの優秀技能加盟店を ご利用下さい



 $\begin{array}{c} \overline{7} \\ 241 \\ 0041 \end{array}$ 

横浜市保土ヶ谷区東川島町二〇=二九

フリーダイヤル 〇一二〇 - 〇〇 -

九一九七

TEL ○四五 - 三八三 -

#### 横浜染物組合

理事長 長谷川 裕男 電 話 045(251)6451

和十周年



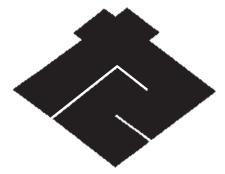
#### 横浜市技能職団体連絡協議会

## 50周年

首都圏建設産業ユニオン横浜支部

(略称:建設ユニオン横浜) 横浜市都筑区仲町台1-34-3-203 Tel045-943-8941

#### 祝 技連協50周年記念



創立明治20年 横浜市左官業協同組合

代表理事 内田 守

〒231-0056 横浜市中区若葉町 2-18 YSビル TEL 045-242-1549 FAX 045-242-1509



#### 神奈川県型枠工事業協同組合

#### 理事長 小泉 義明

〒231-0011 横浜市中区太田町5丁目69番地 山田ビル4階 電話 **045**(**662**)**8470** FAX **045**(**662**)**8481** 

#### 看板作り、看板施工を通じて社会貢献を目指す

#### 神奈川県広告美術協会横浜横須賀支部

●問い合わせ先

**T**259-1217

神奈川県平塚市長持574-8

一般社団法人 神奈川県広告美術協会 事務局

TEL:0463-74-4575 FAX:0463-33-0892

屋外広告物(デザインも含む)のことならなんでもお気軽にお問い合わせください。



## 祝 50 周年 横浜浴槽設備組合

#### ウツミ

〒230-0052 鶴見区生麦5-8-49 TEL 045-511-4935

#### (有)近藤住専

〒232-0058 南区通町4-93 TEL 045-731-5408

#### (有)神保風呂桶店

〒232-0066 南区六ッ川1-264 TEL 045-731-4984

#### (株)竹内商会

〒221-0841 神奈川区松本町4-29-1 TEL 045-323-3808

#### (資)雪野商会

〒230-0051 鶴見区鶴見中央5-11-14 TEL 045-501-4945

#### 柳下商会(資)

〒236-0027 金沢区瀬戸15-13 TEL 045-781-3295

# 使法市政能能回傳連



## 技連協 祝 50周年

## 神奈川県中日調理師会 会 長 揚井 忠明

〒231-0023 横浜市中区山下町187 電話・FAX 045-651-0300



# 祝50周年

横浜市技能職団体連絡協議会



# 神奈川県洋装組合連合会

会長 山本 美恵子

【事務所】〒195-0056 町田市広袴2-4-22 TEL.FAX 042-734-8619

## 祝技連協50周年



横浜市写真師会 会員数 31名

#### 日本の民族衣装きもの

## 神奈川県和服裁縫協同組合

理 事 長 塙 清和

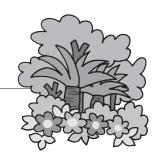
副理事長 石井重一 及川 伊東志

本部理事 石川元久 加藤憲一

〒235-0045 横浜市磯子区洋光台6-36-8 TEL 045-833-4055 FAX 045-833-4066



## 空間を**縁**で 演出する!





## **神奈川県造園業協会**

〒231-0014 横浜市中区常盤町2丁目10番地 伸光ビル2階

TEL.045-662-8793 · 1767

## 拔連協 祝 50周年



## 横浜マイスター会

会長 関野 美三夫

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町138-2 満州屋ビル202

携帯 090-1651-1874

TEL 045-435-9512 FAX 045-435-9513



## 祝 技連協 50 周年

## 横浜市理容連合会

会 長 白川 敏雄 会員一同

〒235-0036 横浜市磯子区中原1-1-14 TEL.045-771-3422 FAX.045-771-9339





#### 祝)50周年記念

## 横浜市建設労働組合連合会

〒221-0834 横浜市神奈川区台町16-12-3F TEL.**045-321-5386** FAX.045-321-5387



#### 全日本司厨士協会

#### 関東総合地方本部 神奈川県本部

〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町2-8-1 若林ビル3階

電 話 045 (261) 0335



日本で唯一、国から社団法人を受けている西洋料理調理師会の団体です。 【目的】食品衛生の向上と食生活の健全な発展を図るため、西洋料理について 調査研究、普及啓蒙、資質及び技術の講習会、試食会、展示会を行い、 日本国民の食生活の向上に貢献すること。

## 創立50周年おめでとうございます

日本の伝統的な食文化の創造的な継承

益々のご発展をご祈念申し上げます

₹220-0023

横浜市西区平沼2丁目5番8号ワコーレ横浜平沼201号

#### 横浜豆腐商工業協同組合

電話 045-322-1989(代表) Fax 045-313-1002



造作収納・特 注 家 具

店舗家具・間伐材家具

# 有限会社関建具店

〒226-0026 横浜市緑区長津田町3919-2

電話 045(981)0137 FAX 045(983)7564

## 视 技連協結成50周年

## 



「あなたの大切な印章は確かな技術と信頼の組合加盟店へ」

# 祝創立50周年記念

はり・きゅう・マッサージ

# 荒井鍼灸院

診療時間 AM 10:00~ PM 6:00

休 診 日 日曜・祭日

## TEL 045-731-2162 (予約優先)

〒232-0054 横浜市南区大橋町3-65 http://www.hariq.info/arai-shinkyuin/

## 祝 技連協 50 周年

#### 全日本建築士会 神奈川支部

建物設計木造住宅 新築、リフォーム、雨漏修理 ビルから住宅まで親身になって取組むグループ

店 名	住 所	TEL

福盛田工務店 金沢区 701-7744 川上工務店 港北区 431-1739 望月工務店 瀬谷区 302-7187 藤 崎 建 業 戸塚区 881-8880 内海工務店 泉 区 804-7526 斉藤工務店 泉 区 304-4368

#### 店 名

住 所

TEL

アトリエダビタ設計中川 都筑区 937-2166 佐 藤 工 務 店 泉区 811-4109 高 橋 工 穃 店 金沢区 783-1003 ソフィア設計落合 戸塚区 881-2866 /\ 宮 工 務 店 戸塚区 383-9287

(順不同)

## 祝 技連協 50 周年

# 塗装で彩る新時代



## **編 神奈川県塗装協会**

〒232-0014 横浜市南区吉野町3-7 HENMIビル4F

電話(045)325-8860(代表)

FAX (045)325-8944 URL http://www.k-tosou.net

横浜市技能職団体連絡協議会 創立 50 周年 おめでとうございます

横浜市美容組合連絡協議会 会長 中野 利彦 横浜市緑区長津田 6-1-3 TEL:045-981-0100



# 祝 50周年



#### 横浜石工連合組合

〒231-0055 横浜市中区末吉町4-71 TEL 045-231-4366 / FAX 045-251-1761 地元で木造住宅からビルまで作り続けて58年 技術と信頼で奉仕する

# 藤崎建業株式会社

代表取締役 藤崎辰徳

横浜市戸塚区上矢部町3250番地

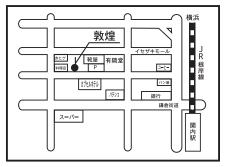
TEL.045-881-8880

# 本格重慶料理

横浜市中区末広町 2-4-8

各種コース料理(2名様より) 食べ放題コース(2名様より) チョット一杯 晩酌セット有り 出前迅速 お弁当も有ります





技能文化会館へ出前致します

25 045-252-7701

営業時間:11:00~24:00 (月~金) 11:00~23:00 (日)



## 影1250周年



横浜市技能文化会館(Yokohama City Craftspeople Assembly Hall)は、 昭和61年(1986年)4月1日、「技能職の振興」「勤労者の福祉の増進及び文化の向上」 を目的として設置されました。

その後、平成17年(2005年)6月、「雇用による就業の機会の確保」を目的の1つに加え、 現在に至っています。

#### 手づくり ものづくり 人づくり

## 獨震市技能文化金館

#### 指定管理者 パーソルテンプスタッフ株式会社

〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7 http://gibun.jp

電話: 045-681-6551 FAX: 045-664-9400

JR関内駅 南口より徒歩5分 市営地下鉄 伊勢佐木長者町より徒歩3分



## 技連協

横浜市技能職団体連絡協議会